

# 第1章 農業生産における生物多様性保全の取組と生きものマーク農産物

田中淳志  
林 岳

## 1. はじめに

生物多様性が失われている危機的な現在の状況を脱するため、国連は2010年を国際生物多様性年と定めた。制定の目的の中で、すべての国連加盟国は、生物の多様性に関する条約（Convention on Biological Diversity; CBD）の3つの目的（生物の多様性の保全、生物資源の持続可能な利用、遺伝資源の利用から生ずる利益の公正で衡平な配分）を達成するために、条約の実施および協調的な取組へのあらゆる主体と利害関係者の参加を促進するように求められている。

自然界に直接働きかける産業である農業においては、生物は収穫対象となる資源である。また同時に、収穫対象となる資源を生み出している生態系には、他にも多様な生物が生息しており、それらの生物との相互作用により収穫対象となる資源が生み出されている。

今後、持続可能な農業を続けるためには生物多様性に配慮することが重要であり、本稿では、生物多様性に配慮した農産物生産の事例として、全国における生物多様性に配慮した米生産の事例を調査し、それぞれの事例から生物多様性に配慮した取組の傾向を把握し、普及のための課題の抽出を行う。そして、現在進められている生きものマーク農産物の取組の意義をまとめる。

## 2. 生物多様性と農業

### （1）生物多様性の保全とその評価

近年、土地開発や気候変動により、地球上では数多くの生物種がその個体数を減らし生物多様性が急速に失われている。日本においても例外ではなく、環境省のレッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）には2007年10月現在3,287種の動植物が登録され、改訂されるごとに絶滅の恐れのある動植物種数が増加している（第1表）。

我が国で生物多様性が失われている原因は主に3つあり、それらは、(1)自然の開発や乱獲等の人間活動による影響、(2)中山間地域等における人間活動の衰退による影響、(3)外来生物による影響（環境省（2002））の3つにまとめられる。また近年ではこれに(4)地球温暖化による影響が加わっている。生物多様性は個人が所有したり、購入したりできる財産ではないため、危機に対して保全する個人のインセンティブが働きづらく、政

府による規制や補助などの保護対策が必要とされてきた。

**第1表 わが国で絶滅のおそれのある野生生物の種数**

絶滅(EX)	野生絶滅 (EW)	絶滅のおそれのある種	
		絶滅危惧I類 (CR, EN)	絶滅危惧II類 (VU)
		3,155	
120	12	1,811	1,344

出所:環境省(2007).

注. EX, EW, CR, EN, VUは環境省(2007)の略号である.

生物多様性の直接的な便益は、食材や医薬品、建築資材や家畜の飼料など、生物多様性が提供する原材料から生じる。また間接的な利用による便益は、空気、水、ガス、化学物質などを作り出したり、流域水資源、受粉、土壌曝気などの媒体として作用することである。さらに、非利用便益として、生物資源を将来利用できるオプションを提供する。このように、さまざまな植物や動物群集を維持することは、将来において潜在的にさまざまな分野での利用機会を提供するとともに、生物自体が新しい形や生態系の新しい相互作用へと進化する可能性を将来にわたり提供する (Koziell 2001)。生物多様性は、今までも、そして将来世代にも大きな便益をもたらすものであり、その多様性が失われることを防ぐ必要がある。

生物多様性の定義には様々なものがあるが、生物の多様性に関する条約では、種内の多様性、種間の多様性、生態系の多様性の3つを含むと定義されている。種内の多様性とはある場所に生息する同一種の持つ遺伝子に多様性があったり、ある種が、生息場所ごとに遺伝子の異なる個体群を形成しているようなことを指している。種間の多様性とは、小さなコドラート(1)から、農場、湿地、半島といった様々なスケールにおいて、多くの動植物種が生息していることを指す。また生態系の多様性とは、気候、地質などの異なる様々な生態系が存在することである。

生物多様性を保全するためには、保全の尺度となりうる科学データが必要であり、生物多様性を数量的に評価する指標としては、種間の多様性を計測するものとして、様々な指数が存在している。代表的なものに Simpson の多様性指数 (Simpson(1949)), McIntosh の指数 (McIntosh(1967)), Berger-Parker 指数 (Berger and Parker(1970); May(1975)), Shannon-Wiener 指数 (MacArthur (1965)) や、Pielou(1969)などの提案した指数がある。Lande(1996)はバイアスのない推計が可能な Simpson の多様性指数を薦めているが、Shannon-Wiener 指数が用いられることも多く、さらに様々な改良が研究者により加えられている(伊藤・佐藤 (2002), 森下 (1996) など)。また、種、属、目レベルやメタ個体群の多様性などを評価したり、生態系の中の指標種を選定し、豊富さを評価する試み(鷺谷, 松田 (1998))などが行われている。

しかし、このような生物多様性の数量的な評価は、生物多様性の経済価値の評価に結びつくものではなく、数量的な評価が高いからいくら金額分の価値があるのだという方程式は存在しない。しかし、「種の多様性」、「生態系の多様性」といった言葉の代わりに、「自然環境」という言葉を使い、自然環境にどのくらいの経済価値があるのかという環境評価が積極的に行われてきた。このような環境評価が行われる背景には、国民や地域住民の環境保全や生物多様性保全への関心の高まりや、その結果として開発行為における生物多様性の保全が重要視されてきたことが背景にある。

自然環境の価値やこれを保全することによる効果の計測については、栗山（1997）、栗山（1998）、竹内（1999）、鷺田（1999）などで展開されている。用いられる手法は、表明選好法や、顕示選好法に分類され、顕示選好法では実際に支出された金額を計測するため具体性があるが、景勝地への旅行費用や公園に隣接した不動産価値といった利用価値の計測を用いており、売買されず値段のつかない自然環境そのものの価値について計測することはできない。また表明選好法は、支払う意思のある金額を問うが、いざ支払う段階になって、実際にその金額を皆が支払うのかはまた別の問題である。

## （２）生物多様性保全と農業生産

農林水産業は、人間の生存に必要な食料や生活物資などを供給する必要不可欠な活動であるとともに、多くの生きものにとって、貴重な生息・生育環境の提供、特有の生態系の形成・維持などに貢献している。しかしながら、「不適切な農薬・肥料の使用、経済性や効率性を優先した農地や水路の整備、生活排水などによる水質の悪化や埋め立てなどによるも場・干潟の減少、過剰な漁獲、外来種の導入による生態系破壊など生物多様性に配慮しない人間の活動が生物の生息環境を劣化させ、生物多様性に大きな影響を与えてきた」（農林水産省（2007））。農業生産は、不適切な農薬や化学肥料投入による農法を行うことで、少なからず農地やその周辺環境に影響を与え、生物多様性へ負の影響を与えることにもなる。そのため、農林水産省生物多様性戦略では、(1)生物多様性保全をより重視した農林水産施策の推進、(2)国民各層に対する農林水産業及び生物多様性への理解の促進、(3)多様な主体による地域の創意工夫を活かした取組の促進、(4)農林水産業を通じた地域環境の保全への貢献の4つの基本的な方針を明示し、各分野で生物多様性の保全の取組を進めることとしている。

また、生物多様性への意識の高い消費者は、生物多様性に配慮して生産された農産物を求めており、そのような要求にこたえる農産物（本稿では、このような農産物を「生きものマーク<sup>(2)</sup>農産物」と呼ぶこととする。）が近年増加しており、減農薬、減化学肥料、水田への冬期湛水や魚道の設置などの取組を通じた生産が行われている。

### 3. 調査の目的・方法

農林水産省は 2010 年 3 月に生きものマークガイドブックを公表し、生きものマーク農産物の取組を積極的に推進している。生きものマークは、例えば、国が策定した統一基準に基づく認証システムではないが、生きものマークのガイドブックには、「農林水産業の営みを通じて生物多様性を守り育む取り組みと、その産物等を活用した発信や環境教育などのコミュニケーション（必ずしもラベルを産物に貼ることを条件としているわけではありません）を表す言葉です」と書かれている（農林水産省（2010））。

生きものマーク農産物は徐々に増えつつあり、生きものマーク農産物を比較的高価格で販売し利益を出している生産者がいる一方で、生きものに配慮しながら生産量を落とさない農法を確立したり、コストの増加分のどのくらいを販売価格に転嫁できるのかを調査したり、慣行米と異なる販路を開拓したりといったことに生産者が取り組むことは負担が多く、必ずしも容易に始められるものではない。そのため、今後生きものマークの取組が推進されるためには、取組事例の整理と農産物の高付加価値化のための要素を抽出することが必要である。

本調査では、生きものマーク農産物の中でも取組事例の多いお米（以下、生きものマーク米）に限定し、価格、販路や取組内容などの概略的な傾向を定性的に把握し、課題を抽出することで、今後の政策推進への寄与を目指す。

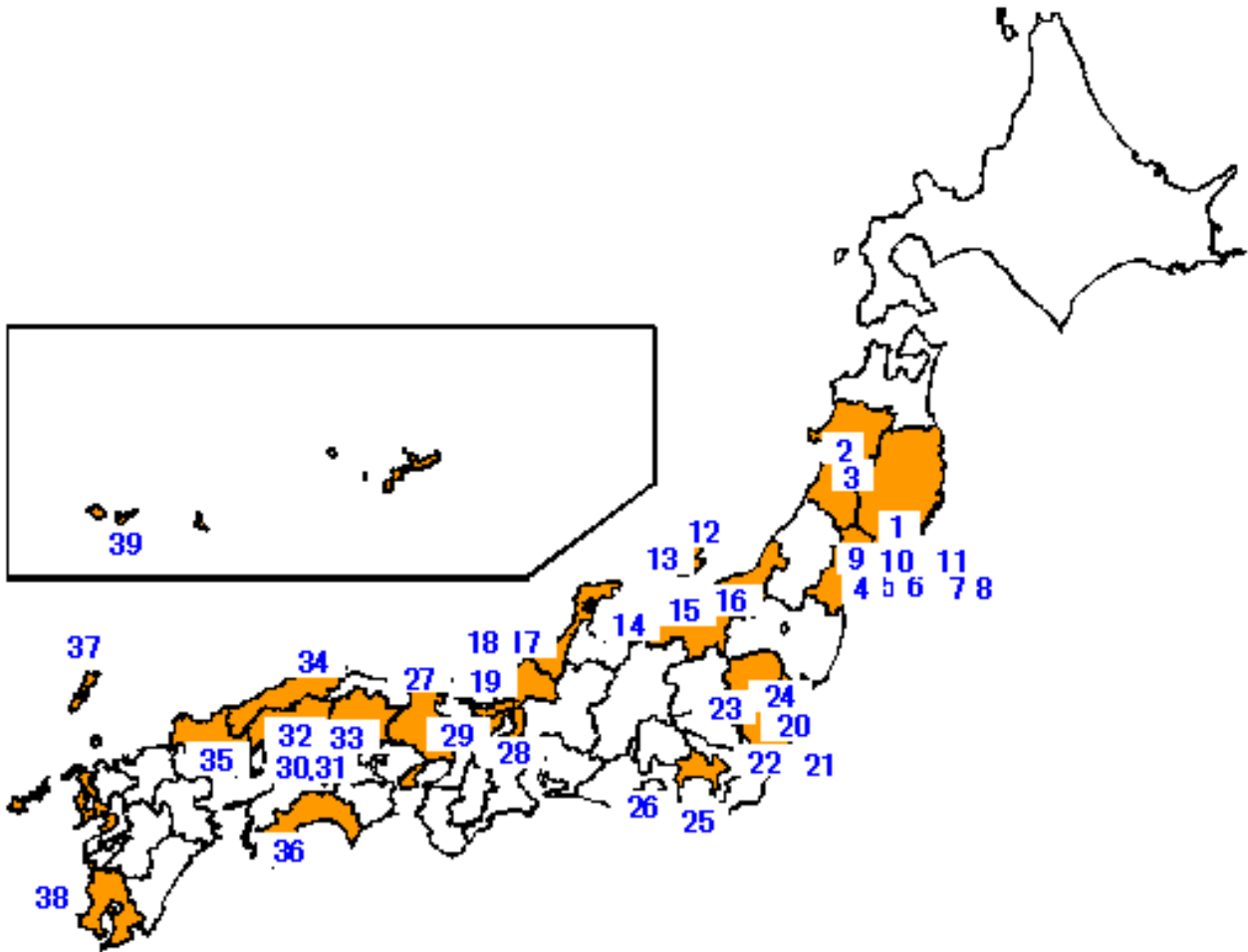
調査方法は、インターネット、新聞、学術雑誌、審議会、各種団体の発行誌などから 2 次情報を入手する方法で行い、2009 年 7 月から 2010 年 3 月頃までの期間、情報収集を行った。また、一部は直接生産者や行政の担当者に聞き取り調査を行った。情報源としては、末尾の表にまとめられているが、およそ 300 の参考文献・サイトを参照した。これらの調査により得られた情報のうち、販売価格や農法、保全している生物種などが明らかになった事例を分析対象として取り上げた。

### 4. 調査結果

分析可能な情報の入手できた生きものマーク米は全国に 39 事例あった。その中で、直接生産者から情報を入手したものは 2 事例、行政の担当者から情報を入手したものは 5 事例であり、他のものはインターネットなどの 2 次データを利用している。利用した 2 次データについては、末尾の参考文献・サイト一覧にまとめた。

第 1 図には分析に用いた 39 事例の全国分布を示している。これを見ると、生きものマーク米の生産地は、東北、北陸、関東の順に多い。栽培面積は調査時点で全国で合計 1,254ha あり、これは全国の水稲作付面積 162 万 4,000ha（2008 年）<sup>(3)</sup>の約 0.08% であるので、必ずしも多いわけではない。また、生産者に加え、NPO 法人や環境教育団体

等が，調査時点で明確に田植え，収穫や販売等に関わっていたのは約 20 の事例であった。このような団体の中には，会員向け会報での生きものマーク米の販売，農作業や水田魚道設置作業への作業協力などを通じて，生産者と一体となり，重要な役割を担っていると思われるものもあった。



第 1 図 全国の生きものマーク米分布図

注. 図中の数字は第 2 表および末尾の参考文献・サイト一覧の番号に対応している。

第2表 全国の生きものマーク米一覧

生産地	ブランド名	保全対象種
<b>東北</b>		
1 岩手県一関市川崎町門崎	メダカ米	メダカ
2 山形県庄内町栄地区	めだかのお米	メダカ
3 山形県庄内町家根合	メダカ米	メダカ
4 宮城県大崎市仲筋	ふゆみずたんぼ米	マガン等
5 宮城県大崎市三本木・下宿	ヒシクイ米	ヒシクイ・マガン等
6 宮城県大崎市加美町等	雁音米	マガン等
7 宮城県大崎市田尻北小塩	ふゆみずたんぼの有機米	トンボ、ホタル
8 宮城県大崎市広長・深谷地区	シナイモツゴ郷の米	シナイモツゴ
9 宮城県栗原市・登米市	雁の里米	水鳥全般、ドジョウ、アサザなど
10 宮城県栗原市築館・迫	伊豆沼オリザ米	ハクチョウ、ニホンアカガエル
11 宮城県登米市南方町	はつかり米	マガン等
<b>北陸</b>		
12 新潟県佐渡市新穂等	トキひかり トキのまんま(注1)	トキ、ドジョウ、カエル等
13 新潟県佐渡市	佐渡育ち 朱鷺の舞 朱鷺と暮らす郷	トキ
14 新潟県妙高市水原	めだか米	メダカ
15 新潟県柏崎市別俣	ハッチョウトンボ米	ハッチョウトンボ
16 新潟県五泉市猿和田	とげそ米	イバラトミヨ
17 石川県加賀市下福田	加賀の鴨米ともえ	トモエガモ等ガン・カモ類
18 福井県越前市白山・坂口	コウノトリ呼び戻す農法米	コウノトリ
19 福井県越前市安養寺町	さぎ草米	サギソウ
<b>関東</b>		
20 茨城県土浦市宍塚	サシバの里・宍塚米	サシバ、アカガエル、チョウトンボ等
21 茨城県稲敷市稲波・引船	オオヒシクイ米	オオヒシクイ
22 茨城県つくばみらい市平沼	あいがも米(注2)	たんぼの生き物全般
23 栃木県小山市など	無耕起メダカ米	メダカ
24 栃木県宇都宮市逆面(さかづら)	育む里のフクロウ米	フクロウ
25 神奈川県茅ヶ崎市西久保	湘南タゲリ米	タゲリ
26 神奈川県小田原市桑原	桑原めだか米	メダカ、デンジソウ、 マルタニシ、モノアラガイなど
<b>関西</b>		
27 兵庫県豊岡市、養父市、 朝来市、新温泉町	コウノトリ育むお米 コウノトリの舞	コウノトリ
28 滋賀県野洲市、米原市、東近江市	魚のゆりかご水田米	ニゴロブナ、ギンブナ、ナマズ、コイ
29 滋賀県高島市	たかしま生きものたんぼ米	ニゴロブナ、ナゴヤダルマガエル、 チュウサギ、メダカ、ナマズなど
<b>中国・四国</b>		
30 広島県尾道市御調町	源五郎米	ゲンゴロウ
31 広島県尾道市御調町	みつぎ健康米	たんぼの生き物全般
32 広島県世羅町伊尾・小谷	ダルマガエル米	(ナゴヤ)ダルマガエル
33 岡山県久米南町北庄中央	今摺米	たんぼの生き物全般
34 島根県安来市能義・宇賀荘	どじょう米	ドジョウ、メダカ、タガメ、コオイムシ
35 山口県周南市八代	つるの里米	ナベヅル
36 高知県日高村鹿児	メダカがいるたんぼのお米	メダカ
<b>九州・沖縄</b>		
37 長崎県対馬市佐護	ツシマヤマネコ米	ツシマヤマネコ
38 鹿児島県日置市尾木場(おこば)	めだかの里米	メダカ、マルタニシ、アカハライモリ
39 沖縄県石垣市	かんむりわし米	カンムリワシ

出所 『現代農業』2009年5月増刊号を元に、他の文献等を参照し筆者が大幅加筆した。他の参照文献については別途末尾の参考文献・サイト一覧に記載した。

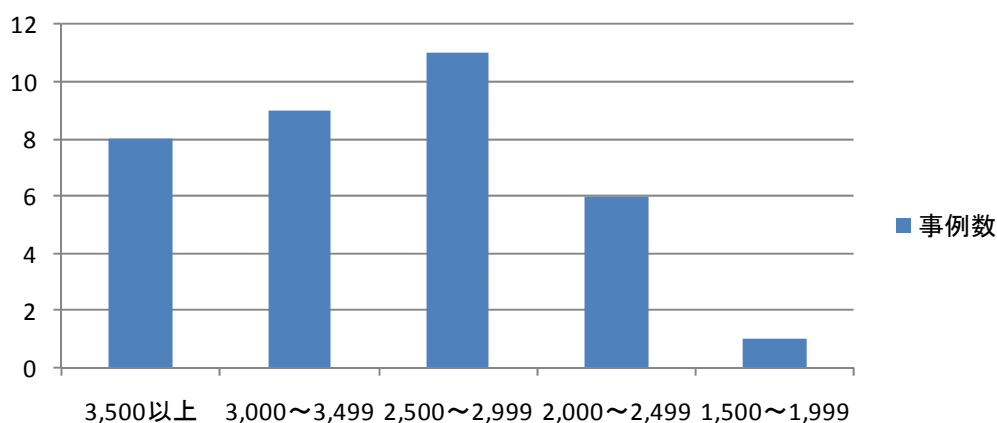
注1 2009年以降は「朱鷺と暮らす郷」という名称で販売している。

2 販売時の名称は未定である。

また今回の調査では取り上げなかったが、生きものに配慮する目的を明確に持って生産を行っているが、生産物を生きものマーク米として差別化して販売していない事例が存在した。そのような例としては、無農薬でお米を作りながら、ミズオオバコなどの希少な動植物を保全し生産を行う長野県小諸市の事例や、ため池に生息するニッポンバラタナゴの保全や土壌改良を目的に NPO 法人と協力し池干しを実施しながら生産を行う大阪府八尾市の事例などがあった。

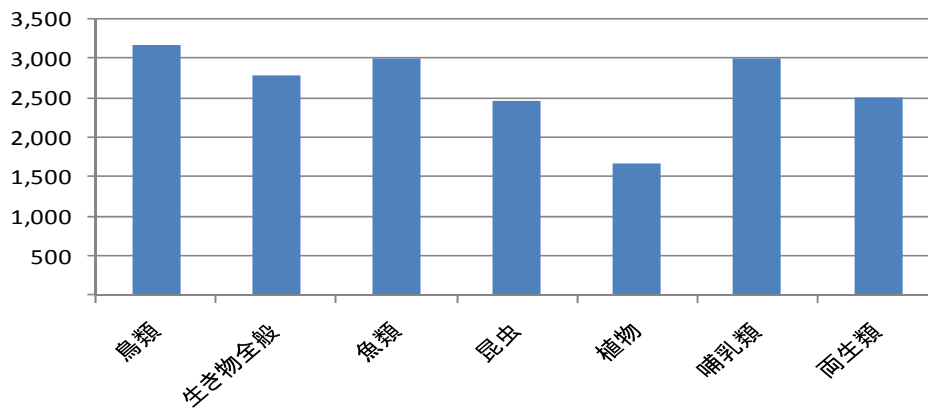
第 2 図に、生きものマーク米の小売価格帯を示した。価格はうるち米の小売価格を対象にし、もち米、酒米、古代米は除外している。また、生きものマーク米の小売価格が複数あり幅がある場合は平均値を採用し、減農薬と無農薬など同一産地で 2 種類以上の生きものマーク米を販売している場合もその平均値を採用した。以降の比較も一部を除き同様の条件を採用している。

生きものマーク米は 2,500～2,999 円/5kg の価格帯が多く、平均小売価格は 2,885 円/5kg であった。これに対して調査時期(2009 年 10 月)の慣行米の平均小売価格は 2,164 円/5kg (特売含む 2009 年産コシヒカリ平均価格, 農林水産省(2009))で、生きものマーク米の小売価格が平均して高いことがわかる。



第 2 図 生きものマーク米小売価格分布 (円/5kg)

次に保全対象の生きものの種別に、生きものマーク米の価格を示した (第 3 図と第 3 表)。これは、生きものごとの人気、不人気は価格に反映されるのかを調べる目的で集計した。事例数が少ない中で、分類群によっては生きものマーク米が少なく、特に植物の 1 事例については、2007 年に取組が始まったあと、価格の情報が少なく 60kg 単位で販売している価格をもとに 1,666 円/5kg という値を用いている。そのため、すべての分類群で平均値を見ているわけではないことに留意いただきたい。



第3図 生きもの種別と平均小売価格 (円/5kg)

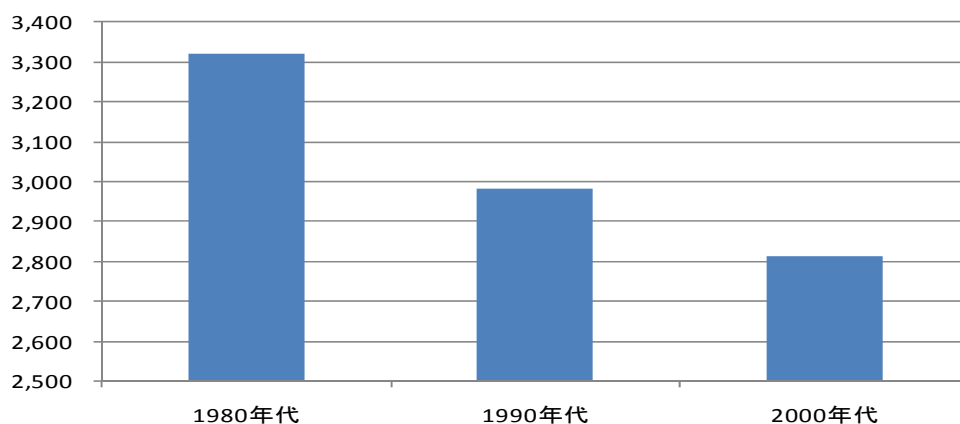
第3表 生きもの種別と平均小売価格

野生生物の分類群	事例数	平均小売価格(円/5kg)
鳥類 (内渡り鳥)	13 (8)	3,156 (3,168)
生き物全般	12	2,777
魚類 (内メダカ)	8 (6)	2,995 (3,068)
昆虫	3	2,465
植物	1	1,666
哺乳類	1	3,000
両生類	1	2,500
	39	(平均2,885)

第3表を見ると、鳥類の保全を主に取り組んでいる生きものマーク米の平均小売価格が3,156円/5kgと最も高く、事例数も13事例と最も多いことがわかる。次に魚類の保全に取り組む生きものマーク米が8事例となっており、平均小売価格も2,995円/5kgと高いが、魚類のうちのほとんどはメダカの保全を主に取り組んでおり、人々への身近な生きものとしてのメダカの人気の高さがわかる。なお、生きもの全般とは、生物種を特定せず、生きもの全般の保全に取り組んでいると宣伝して販売されている米を指す。

次に、生きもの保全の取組を開始した年と、平均小売価格の関係を図示する(第4図と第4表)。取組開始が早い例では1980年代から2つの取組が始まり現在まで続いている。これを見ると、事例数は少ないが、取組が長いほど販売価格が高くなっていることがわかる。この結果からは、長い期間をかけて徐々に消費者に生きものマーク米の生産趣旨を理解してもらうことが高価格でも消費者に受け入れられる可能性を有することを示している。



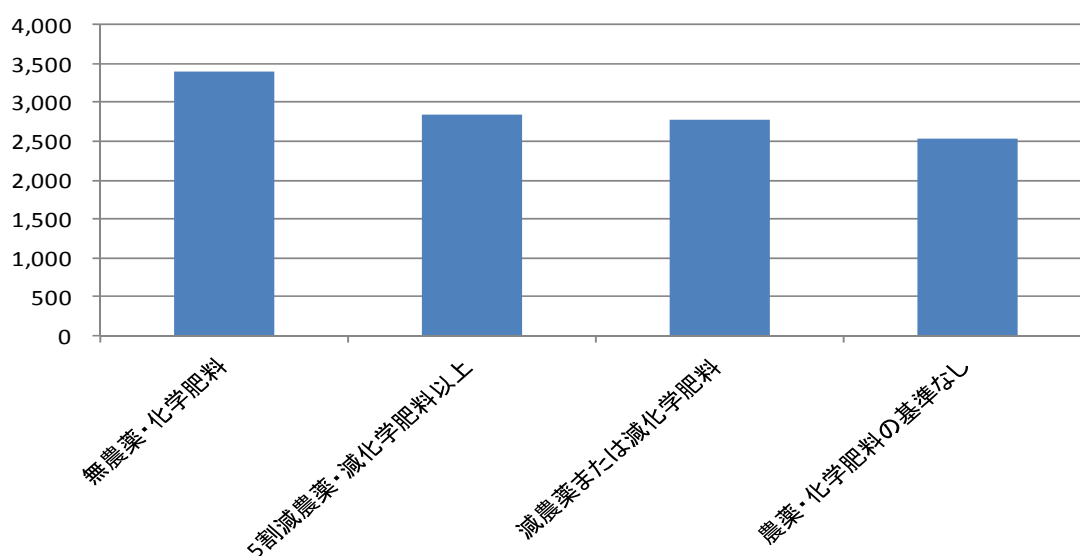


第4図 取組開始年と平均小売価格 (円/5kg)

第4表 取組開始年と平均小売価格

取組開始年	事例数	平均小売価格(円/5kg)
1980年代	2	3,320
1990年代	10	2,983
2000年代	26	2,811
		(平均2,885円)

次に、栽培基準と平均小売価格の関係を示す（第5図と第5表）。栽培基準は厳しい順に、無農薬・無化学肥料，5割以上の減農薬かつ減化学肥料，特に割合を明記しない減農薬または減化学肥料，農薬および化学肥料の基準なしの4つに分けた。5割以上減農薬・減化学肥料には，8割減農薬・減化学肥料なども含まれるが，5割以上の減農薬をしていても化学肥料を減らす基準がない場合には特に割合を明記しない減農薬または減化学肥料に含まれる。



第5図 栽培基準と平均小売価格

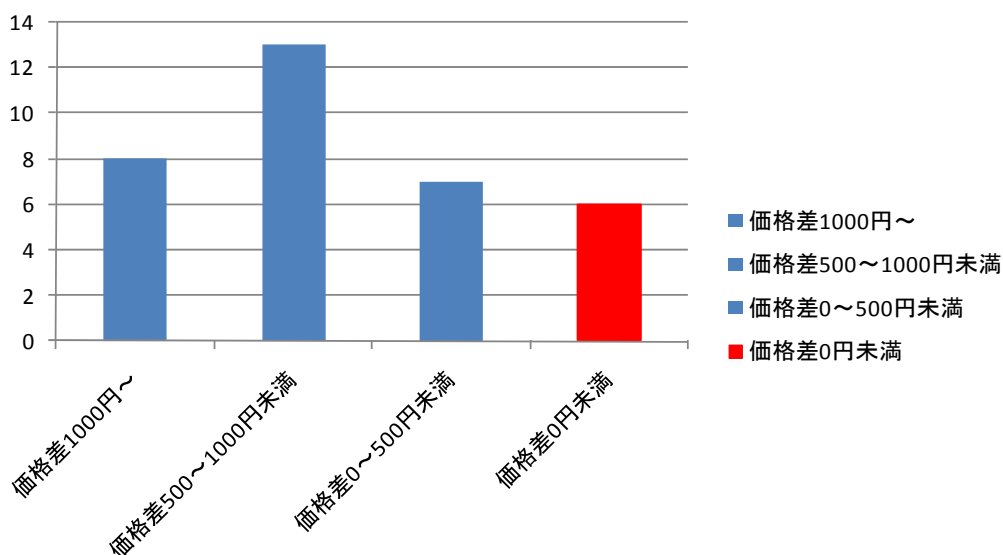
第5表 農薬・化学肥料と平均小売価格

農薬・化学肥料の基準	事例数	平均小売価格(円/5kg)
無農薬・化学肥料	10	3,388
5割減農薬・減化学肥料以上	15	2,840
減農薬または減化学肥料	11	2,786
農薬・化学肥料の基準なし	4	2,538
		(平均2,885円)

結果からは栽培基準が厳しくなると平均小売価格も高くなることがわかる。消費者は農薬や化学肥料の削減に対しては、支払意思額が高くなる傾向があるので、生産者にとっては、減農薬・減化学肥料の基準を厳しくすることで平均小売価格を上げることができることを示している。これは、減農薬・減化学肥料は必ずしも生物種の保全に直結するわけではないが、消費者は生物種保全の代理指標として農薬・化学肥料の削減度を見ている可能性を示唆するものである。

次に、生きものマーク米とその地域の慣行米との小売価格差を示す(第6図と第6表)。その地域の慣行米は、主にインターネット上で販売している慣行米の価格を複数取得し、平均値を計算している(末尾の参考文献・サイト一覧参照)(4)。

結果からは、小売価格差 500～1,000 円/5kg のものが最も多く、次に小売価格差が1,000 円/5kg 以上の事例数が多い。また、小売価格差がマイナス、すなわち生きものマーク米のほうが安くなっている事例が6つあるが、これらは、主な販路が知人、縁故や産直となっており、中間マージンがない分、安く販売されていると考えられる。



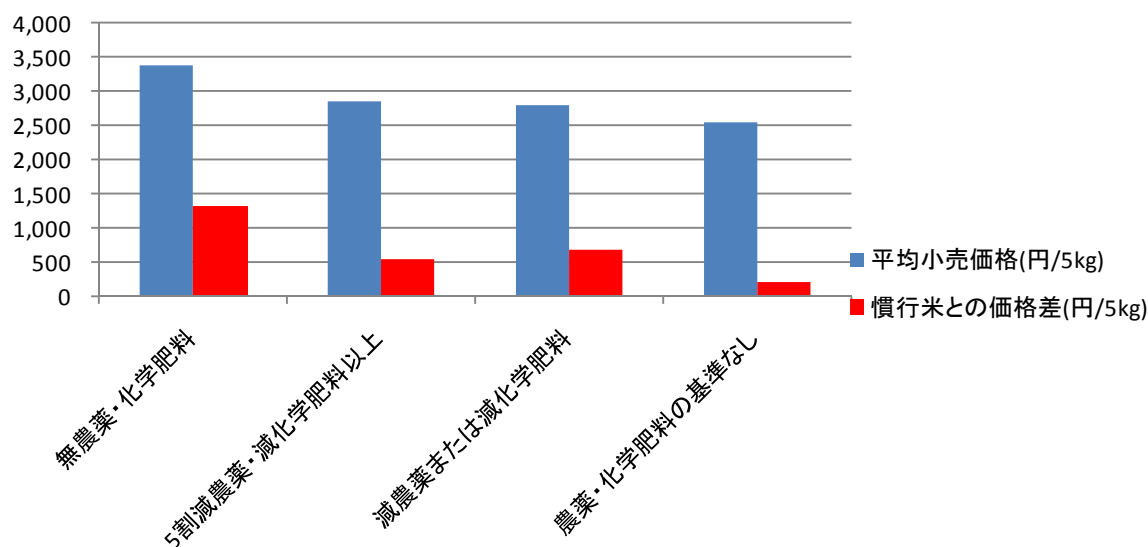
第6図 生きものマーク米とその地域の慣行米との小売価格差

**第6表 慣行米との小売価格差の関係**

価格差(円/5kg)	事例数
価格差1000円～	8
価格差500～1000円未満	13
価格差0～500円未満	7
価格差0円未満	6
(平均価格差610円)	

次に、生きものマーク米の栽培基準ごとの慣行米との小売価格差を示す（第7図と第7表）。

結果からは、無農薬・無化学肥料が平均小売価格、慣行米との小売価格差ともに最も高く、栽培基準の厳しさ順にほぼ平均小売価格と小売価格差が形成されていることがわかる。小売価格差において5割減農薬・減化学肥料より、減農薬または減化学肥料の方が小売価格差が大きいことについては、生きものマーク米の栽培基準を調査する際に減農薬や減化学肥料の度合いの正確な情報が得られなかったものがあり、減農薬または減化学肥料の中に5割減農薬・減化学肥料の生きものマーク米が含まれて、価格が計算されているためと思われる。



第7図 栽培基準ごとの慣行米との小売価格差

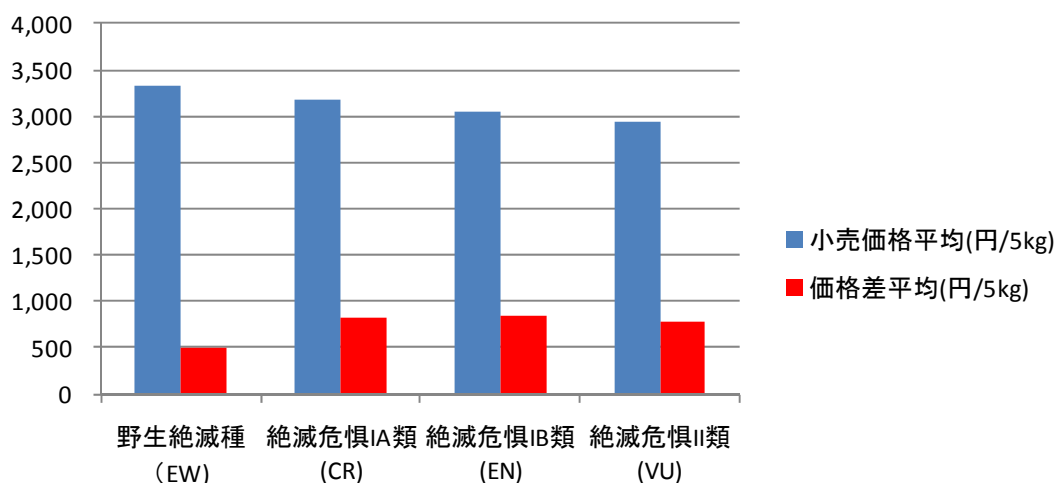
**第7表 農薬・化学肥料と平均小売価格**

農薬・化学肥料の基準	事例数	平均小売価格(円/5kg)	慣行米との価格差(円/5kg)
無農薬・化学肥料	10	3,388	1,322
5割減農薬・減化学肥料以	15	2,840	553
減農薬または減化学肥料	11	2,786	672
農薬・化学肥料の基準なし	4	2,538	220
		(平均2,885円)	(平均価格差610円)

次に、生きものマーク米の主な保全対象種の絶滅のおそれの度合いと慣行米との小売

価格差を示す（第8図と第8表）。絶滅のおそれの度合いは、環境省の発行するレッドリスト（環境省（2007））の基準を用い、野生絶滅種、絶滅危惧ⅠA類、絶滅危惧ⅠB類、絶滅危惧Ⅱ類という4基準を採用している<sup>(5)</sup>。

結果からは、平均小売価格は絶滅のおそれの高い順になっていることがわかるが、慣行米との小売価格差では、絶滅のおそれの高い順にはなっていない。慣行米との小売価格差が絶滅のおそれの高さと比例しない点は、慣行米との小売価格差は絶滅のおそれの高さよりもむしろ減農薬・減化学肥料といった栽培基準や産直や縁故販売など販路の要因の方が大きく影響するためと思われる。この点からも消費者は生物種の絶滅のおそれの高さといった本質的な生物保全の基準よりも、減農薬・減化学肥料といった身近な基準を判断指標としていることが窺える。



第8図 生きものマーク米の保全種の絶滅のおそれの度合いと慣行米との小売価格差

第8表 保全種の絶滅のおそれの度合いと慣行米との小売価格差

環境省レッドリスト区分	事例数	小売価格平均 (円/5kg)	小売価格差平均 (円/5kg)
野生絶滅種 (EW)	2	3,338	498
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	6	3,186	832
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	3	3,045	844
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	13	2,942	771
		(平均2,885円)	(平均価格差610円)

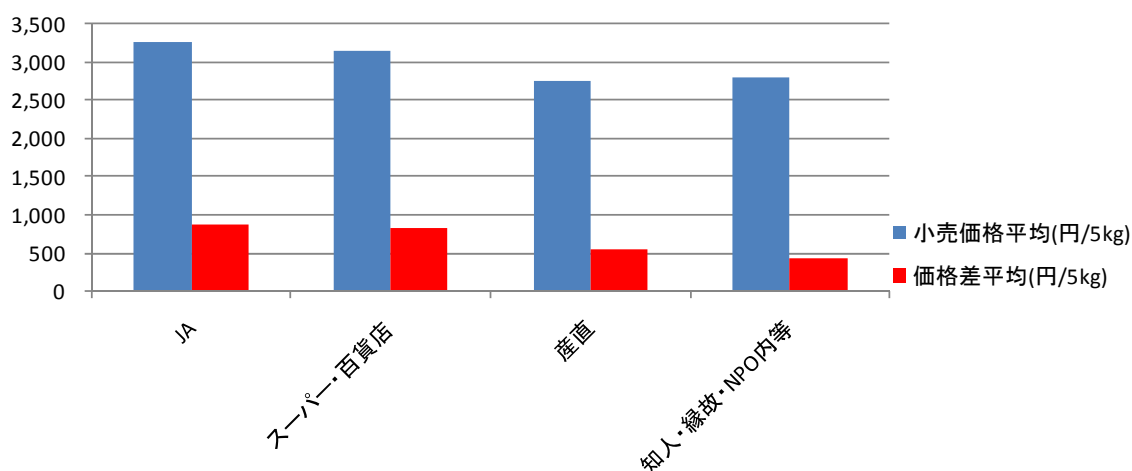
注 EX, EW, CR, EN, VUはレッドリスト内での略号である。

次に、販路毎の慣行米との小売価格差を示す（第9図と第9表）。JA やスーパー等の流通を通して販売をすると平均小売価格が上昇し、慣行米との小売価格差も大きくなることがわかる。一方で、販路として主に産直や知人・縁故等を利用しているいわゆる縁故販売の生きものマーク米は、平均小売価格が低く、その地域の同銘柄の慣行米との小

売価格差も比較的に低いことが分かる。これは、縁故販売の場合は JA やスーパーを通じて販売する際の間接マージンが不要となり、その分安価で販売されているためと示唆される。

**第9表 販路と平均小売価格, 慣行米との小売価格差**

販路	事例数	小売価格平均(円/5kg)	小売価格差平均(円/5kg)
JA	8	3,264	874
スーパー・百貨店	6	3,143	817
産直	21	2,750	555
知人・縁故・NPO内等	9	2,801	422
		(小売平均2,885円)	(平均価格差610円)



第9図 販路毎の慣行米との小売価格差

## 5. 生きものマーク農産物の課題と今後の展望

### (1) 生きものマーク米の課題

生きものマーク米は 1980 年代から現在まで増加傾向にあり、今後も増加が予想される。現在の状況は、消費者の関心の高まりから、プレミアムを付けて販売が可能なものもある状況であり、その意味では生きものマーク米に対する社会のニーズが高まっていると言える。

一般的な傾向としては、栽培基準が生産者にとって厳しいほど、高い小売価格をつけることができ、高いプレミアムが付いていると言える。また、生きものマークの対象となる生物は鳥類が多く、平均小売価格でも鳥類が他の分類群に比べるとより高かった。

絶滅のおそれの度合いの高い種は、生物多様性の観点から保全の緊急性が高いが、生きものマーク米の平均小売価格は、絶滅のおそれの高いものほど高いということはなく、絶滅のおそれの度合いは値付けに反映されていないと言える。消費者はむしろ減農薬・

減化学肥料を間接的な生物種保全指標として生きものマーク米の判別を行っている。将来的にはこのような間接的指標だけでなく、本質的な生物種の保全指標でも判断してもらえるようにしなければならないだろう。

また、生きものマーク米の販売においては、生産者は、慣行米を栽培しJAに出荷する場合には求められない販売面での高いスキルが必要となってくる。例えば、どのような販売方法をとるのかを決めるマーケティングリサーチ、販路を開拓するセールス能力、値段を決める交渉能力などが求められる。NGOなどの協力者や、大手スーパーとの大口取引がない場合、1生産者としておいしいお米を作ることに専念してきた経営者が、同時に優秀な販売者であることを求められるのである。この点においては、多くの生産者が販路の開拓などを課題ととらえており、第1次産業に従事しながら、第3次産業としてのサービス業やセールス業の才能を求められている。現時点では、生きものマーク米の各生産者が各々の人脈をフルに活用して活路を見出している状況である。

今後新たに生きものマーク農産物の生産を始めようと考えている生産者が、地域内で一緒に取り組む者を見つけたら、栽培基準の統一、希望販売価格の決定、販路開拓、利益の分配方法等をあらかじめ決めておく必要がある。販売を促進するために販路は柔軟に広げたいと思う一方で、販売先によっては値引きを要求されることもあり、生産者の中には同意できない者もいる。またインターネット経由の産直で売る場合などに、ITスキルが高く見栄えのいいHPを持っている特定の個人に注文が集中することがあり<sup>(6)</sup>、販売額の偏りから不満を抱える生産者もあり、利益の分配にも気を配る必要がある。

## (2) 生物多様性保全と生きものマーク農産物の意義

農林水産業の営みを通じて生物多様性を守り育む取組は始まったばかりである。この取組は、生産者が単に生産するだけでなく、生産物に込められた取組の思いを消費者に広く知ってもらうことで差別化され、購入される。生産すれば必ずしも高く売れるわけではなく、行政を含めた様々な人たちが、生きものマークの取組を戦略的に広める必要がある。

また、生産物の高付加価値化のためには、減農薬・減化学肥料や無農薬、有機栽培など、生きものに配慮した栽培上の明確な基準が必要である。これは、消費者への宣伝効果があるとともに、生産者同士で生きものマーク農産物の生産方法の基準などを明確化する手段となる。

生物多様性の保全の観点から生きものマーク農産物を見ると、取組の事例は増えているものの絶対数はまだわずかであり、農林水産業を行う場に生息する生物の保全に少しずつ寄与している段階と言える。我が国で絶滅のおそれのある野生生物種として挙げられる約3,200種のうちの約半数は農林水産業の営まれる場所を利用しているとされており、生きものマーク農産物と銘打っていない農産物の生産現場においても、多くの無

名の絶滅の恐れのある野生生物種が日々を生き永らえている。

そのような絶滅のおそれの高い野生生物種には、かつては里山の水路に広い範囲で生息していたミヤコタナゴやアユモドキなどが含まれ、現在このような絶滅のおそれの高い種は、密漁防止のため関係者の間で生息場所が秘匿されている。絶滅のおそれが非常に高く、保全の優先順位が非常に高い種ほど、生きものマーク農産物を作り保全に貢献することが難しいというジレンマは多くの種で存在する。

また絶滅のおそれの高い野生生物種が生息している農地は、たいていの場合、農業の近代化から取り残され、昔ながらの土水路が残り、生産規模が小さく、谷戸のつまり、離島、傾斜地など交通の便が悪く、大市場へのアクセスが悪いような条件不利地である。生きものにとって最後に残された生息場所とは、たいていの場合、生産性の低い場所である。このような生産性が低く高コストになりがちな農産物にプレミアムを付け、農業生産を維持することで間接的に生物種の保全につながる。生物多様性に配慮した農林水産業とは、生産の場としての農地、河川、海、森林環境に配慮することであり、生きものが住める場所では、持続的に第1次産業を行うことができる。つまり、将来にわたり地域の第1次産業を守り、地域の人々の生活を守ることができる。そのためには生きものマーク農産物の取組はより一層進められるべきである。

もし地域に希少な野生動植物種が生息し、その種を大切に思い活動する NPO 法人などの協力者がいれば、地域の自然環境を守りながら行う生きものマーク農産物の生産には、大きな協力が得られる可能性がある。生きものマーク農産物を購入する人たちは、生物多様性や地域の環境に敏感な意識を持つ人たちであり、そのような人たちと交流し、共感を得られる農林水産業を展開することは非常に重要である。

#### 〔注〕

- (1) コドラートとは、方形区ともいい個体数・種数などを調べるための単位となる枠のことである。
- (2) 「生きものマーク」とは、農林水産業の営みを通じて生物多様性を守り育む取組と、その産物等を活用した発信や環境教育などのコミュニケーションを表すものであるが、必ずしもラベルを産物に貼ることを条件としているわけではない。
- (3) 農林水産省(2008)より引用。
- (4) 新潟産こしひかりや秋田産あきたこまちなど主要な銘柄の慣行米価格については、毎月農林水産省総合食料局が公表している記者発表資料にデータがあるが、これは複数の業者からバーゲン価格も含めて取得して平均値を出しており、特価販売を覗いた価格で調査を行っている生きものマーク米と比較するためには過小評価となるので、本分析では利用しなかった。
- (5) このうち野生絶滅種には、トキとコウノトリが該当するが、調査時点の2009年時点で

は、トキもコウノトリも野生復帰事業により自然界への放鳥が行われている。

- (6) この課題は生きもののマーク米を生産する農家へのヒアリング調査から得られたものである。

#### 〔引用文献〕

Berger W.H., Parker F.L., (1970) “Diversity of planktonic foraminifera in deep-sea sediments”, *Science* 168, pp.1345-134.

伊藤嘉昭, 佐藤一憲 (2002) 「種の多様性比較のための指数の問題点—不適切な指数の使用例も多い—」, 『生物科学』 53(4), pp.204-220.

IUCN, (2009) “IUCN Red List of Threatened Species Version 2009.1.”.

Koziell I.(2001) “Diversity not adversity: sustaining livelihoods with biodiversity”, International Institute for Environment and Development.

環境省 (2002) 『新・生物多様性国家戦略』, <http://www.biodic.go.jp/nbsap.html> (2009年7月14日アクセス)。

環境省 (2007) 『レッドリスト・レッドデータブック』, [http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb\\_f.html](http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html) (2009年7月14日アクセス)。

栗山浩一 (1997) 『公共事業と環境の価値—CVMガイドブック—』, 築地書館。

栗山浩一 (1998) 『環境の価値と評価方法—CVMによる経済評価—』, 北海道大学図書刊行会。

Lande, R., (1996) “Statistics and partitioning of species diversity and similarity among multiple communities”, *Oikos* 76, pp.5-13.

May, R.M., (1975) “Patterns of species abundance and diversity”, in Cody, M.L., and Diamond, J.M. (eds)(1975), “Ecology and Evolution of Communities”, Harvard University Press, pp.81-120.

MacArthur R.H., (1965) “Patterns of species diversity”. *Biological Review* 40, pp.510-533.

McIntosh, R.P., (1967) “An Index of Diversity and the Relation of Certain Concepts to Diversity”, *Ecology* 48(3), pp.392-404.

森下正明 (1996) 「種多様性指数に対するサンプルの大きさの影響」, 『日本生態学会誌』 46, pp.269-289.

農林水産省 (2007) 『農林水産省生物多様性戦略』。

農林水産省 (2008) 『平成 20 年耕地及び作付面積統計』。

農林水産省 (2009) 「平成 21 年 9 月の国内産米穀の卸小売価格の概況について」, <http://www.maff.go.jp/j/press/soushoku/keikaku/091027.html> (2009年11月1日アクセス)



農林水産省（2010）『生きものマーク農産物ガイドブック』。

Pielou, E.C.,(1969) “An introduction to mathematical ecology”. John Wiley.

Simpson, E.H., (1949) “Measurement of Diversity”, *Nature 163*, p.688.

竹内憲司（1999）『環境評価の政策利用』，勁草書房。

鷺谷いつみ，松田裕之(1998)「生態系管理及び環境影響評価に関する保全生態学からの提言  
（案）」，『応用生態工学』1(1)，pp.51-62.

鷺田豊明（1999）『環境評価入門』，勁草書房。

付表1 全国の生きものマーク米一覧(詳細版)1/4

A 生産地	B ブランド名	C 保全対象種	D レッドリスト区分 (環境省,IUCN) 注1)	E 品種	F 生産農 家数	G 栽培面 積	H 栽培方法	I 取組内容		J その他取組
								無農薬	生き物直接対策	
東北 1 岩手県一関市川崎町 門崎	メダカ米	メダカ	VU, -	-	-	-	無農薬	ピオトープ、メダカ水路、メダカ越冬池を水田周囲に設置	-	-
2 山形県庄内町 菜地区	めだかのお米	メダカ	VU, -	はえぬき、ササニシキ、ひとめぼれ、あきたこまち、コシヒカリ	20戸	80ha	20年前より有機肥料使用。5割減農薬。火を使用せず常温乾燥	メダカ池整備	農家はエコファーマー。取引先米屋や弁当屋と田植えや稲刈りの交流	-
3 山形県庄内町 家根台	メダカ米	メダカ	VU, -	はえぬき	60人	30ha	天日干し	メダカ池整備、水田へのメダカ放流、魚道の設置	余目一小学校環境学習(魚の生き物調査、稲刈り等)	-
4 宮城県大崎市 仲朋	ふゆみずたんぼ米	マガン等	NT, LC	ひとめぼれ、ササニシキ	10戸	20ha	無農薬・無化学肥料、無除草剤 冬期湛水	「蕪栗沼と周辺水田」「化女沼」「伊豆沼・内沼」をラムサール条約登録地として住民が合意	消費者交流会、田植え、稲刈り体験、マガン観察会、生きもの調査、小中学生の環境教育、グリーンツーリズム、エコツーリズム	-
5 宮城県大崎市 三本木・下宿	ヒシクイ米	ヒシクイ・マガン等	VU, LC	ひとめぼれ	1戸	1.8ha	除草剤1回のみ使用。鶏糞と有機成分の粒状肥料を使用	「蕪栗沼と周辺水田」「化女沼」「伊豆沼・内沼」をラムサール条約登録地として住民が合意。渡り鳥は水田に採食に飛来する。	ガン類生態調査、生き物調査等	-
6 宮城県大崎市 加美町等	雁音(かりおんまい)	マガン等	NT, LC	ひとめぼれ、ササニシキ、コシヒカリ、みやこあね、ほえみのり、ササニシキ	150戸	471.4ha	不耕起、水苗代 冬期湛水、深水管理	「蕪栗沼と周辺水田」「化女沼」「伊豆沼・内沼」をラムサール条約登録地として住民が合意。生き物調査を地区ごとに実施し、水田生態系の特徴を把握	稲作オーナー(都市住民)の農業体験	-
7 宮城県大崎市 田尻北小塩	ふゆみずたんぼの有機米	トンボ、ホタル	-, -	ササニシキ	1戸	2.8ha	有機栽培 冬期湛水	-	-	-
8 宮城県大崎市 広長・深谷地区	シナイモツゴ郷の米	シナイモツゴ	OR, -	ひとめぼれ	6戸	5ha	減農薬、減化学肥料	シナイモツゴの生息環境を維持するためのため池の泥上げ等	-	-
9 宮城県栗原市・ 登米市	雁の里米	水鳥全般、ドジョウ、アサギなど	-, -	ひとめぼれ、ササニシキ	2戸	1.55ha	無農薬・無化学肥料(ひとめぼれ)、アサギモ農法	「蕪栗沼と周辺水田」「化女沼」「伊豆沼・内沼」をラムサール条約登録地として住民が合意	伊豆沼からの雁の飛び立ちの観察、百姓体験、稲刈り、「とめ・くり」は百姓環境フォーラム」開催など	-
10 宮城県栗原市 築館・迫	伊豆沼オリザ米	ハクチョウ、ニホンアマガサ、エル	-, LC(大白鳥)	コシヒカリ、ひとめぼれ	4戸	4.5ha	無農薬無化学肥料、米ヌカ飼料 冬期湛水、深水管理	「蕪栗沼と周辺水田」「化女沼」「伊豆沼・内沼」をラムサール条約登録地として住民が合意。ハクチョウ等の餌となる生物のためには水田魚道設置	ゼニタナゴ、シナイモツゴ、ニホンアカガエル保全活動、オオクチバエ駆除活動	-
11 宮城県登米市 南方町	はつかり米	マガン等	NT, LC	こころまち	1戸	1.2ha	無農薬、無化学肥料、アサギモ農法	「蕪栗沼と周辺水田」「化女沼」「伊豆沼・内沼」をラムサール条約登録地として住民が合意。マガン等渡り鳥の飛来にあわせて稲を収穫し、収穫後の水田を渡り鳥の採餌地に提供。	9.96haの農地すべてで無農薬・無化学肥料で栽培	-

注1 レッドリスト区分の表示は左側が環境省のレッドリスト区分、右側がIUCN(国際自然保護連合)のレッドリスト区分となっており、“-”はリストには掲載されていないことを示す。  
区分の略号は本表末尾(4/4)に記載している。

A	B	K	L	M	N	O	P	Q	R
生産地	ブランド名	取組組織	精米小売価格(円/5kg)	周辺の慣行米小売価格(円/5kg)	慣行米との価格差	販路	取組開始年	行政機関による全対象種への対策	行政機関による生き物ブランド米の販売促進
東北 1 岩手県一関市川崎町 門崎	メダカ米	岩手大学、一関市川崎支所、川崎土地改良区、岩手県	-	-	-	-	-	-	-
2 山形県庄内町 菜地区	めだかのお米	(有)米シスト庄内	2,480~3,780	1,780(山形県はえぬき 慣行) 2,581(山形はえぬき特A 慣行) 2,800(山形はえぬき 特別栽培)	1,350	全国だが、主に関東。業務用、産直(イオン)。精米販売。	1993	-	-
3 山形県庄内町 家根合	メダカ米	NPO法人 家根合生態系保全活動センター	同上	同上	-	地元農協を通じて町内外で販売	1999 (2008より販売)	-	「地域ビジネス支援事業」の一環として、県が魚道設置、HP作成等の支援
4 宮城県大崎市 伸萌	ふゆみずたんぼ米	ふゆみずたんぼ生産組合、たじり稲波公社、NPO法人 田んぼ、大崎市	2,800(33,600/60kg)	1,990(大崎市ひとめほれ 慣行) 3,980(10kg)	810	首都圏及び地場産直所の店舗販売、通販、並びに飲食店(大手米卸業者、自然食品販売会社、飲食店、地場産直所等)	2004	渡り鳥の越冬地であるラムサール条約登録湿地「蕪栗沼と周辺水田」「化女沼」「伊豆沼・内沼」に近く、対象地区を鳥獣保護区としてい	-
5 宮城県大崎市 三本木・下宿	ヒシクイ米	雁の里親友の会、下宿地区環境保全隊	2,500(15,000/30kg)	同上	510	雁の里親会員、その家族等に直送	1997	同上	-
6 宮城県大崎市 加美町等	雁首米(かりおんまい)	雁首農産開発有限会社、自然環境共生研究会	1,800~3,500(22,000~30,000/60kg。栽培方法により異なる)	同上	660	関東と関西を中心に全国(産直、通販会社、自然食品店、外食産業)	1996	同上	-
7 宮城県大崎市 田尻北小塩	ふゆみずたんぼの有機米	北小塩自治振興会	2,500	同上	510	インターネット、地元商店	2004	-	-
8 宮城県大崎市 広長・深谷地区	シナイモツゴ郷の米	NPO法人シナイモツゴ郷の会、シナイモツゴ郷の米作り手の会	2,200	同上	210	全国にHP等での直販、市内病院、市内3か所の小売店で販売、	2008	-	-
9 宮城県栗原市・ 登米市	雁の里米	百姓環境フォーラム	2,500(玄米30,000/60kg)	2,280(宮城県ひとめほれ 慣行) 2,400(栗原市ひとめほれ 特別栽培米)	220	全国に産直販売	1991	渡り鳥の越冬地であるラムサール条約登録湿地「蕪栗沼と周辺水田」「化女沼」「伊豆沼・内沼」に近く、対象地区を鳥獣保護区としてい	-
10 宮城県栗原市 築館・迫	伊豆沼オリザ米	ナマズのがっこう	1,916~2,500(機械乾燥23,000円、自然乾燥30,000円/60kg)	同上	-72	東京、仙台、岩手の有機米問屋)	2004	同上	-
11 宮城県登米市 南方町	はつかり米	(有)板倉農産、日本雁を保護する会	4,000	比較対象米(こちまち)情報なし	-	産直(インターネット)、業務用(寿司屋、料亭、居酒屋、保育園、病院など40件以上)	1992	同上	-

付表1 全国の生きものマーク米一覧(詳細版)2/4

A 生産地	B ブランド名	C 保全対象種	D レッドリスト区分 (環境省, IUCN) 注1	E 品種	F 生産農 家数	G 栽培面 積	H 取組内容	I 取組内容		J
								[生き物直接対策]		
北陸										
12 新潟県佐渡市 新穂等	トキひかり(トキ のまんま)	トキ、ドジョ ウ、カエル等	EW, EN	コシヒカリ、コ シヒカリBL	22戸	30ha	無農薬無化学肥料(トキひかり)、8割 減農薬無化学肥料(トキのまんま) 冬期湛水、水田魚道	田んぼ内ビオトープ	消費者・子どもと生き物調査、修学 旅行受け入れ、大学生研修旅行 受け入れ	
13 新潟県佐渡市	佐渡育ち 朱鷺の舞 朱鷺と暮らす郷	トキ	EW, EN	コシヒカリ	-	-	農薬・化学肥料を30%減、 農薬・化学肥料を50%減、 農薬・化学肥料を50%減以上、冬期湛 水、水田魚道、水路深水管理	-	-	
14 新潟県妙高市 水原	めだか米	メダカ	VU, -	コシヒカリ	12戸	10ha	はさかけ、天日干し	-	棚田オーナー制度	
15 新潟県柏崎市 別俣	ハッチョウトンボ 米	ハッチョウト ンボ	-, -	コシヒカリ、こ がねもち、ひ とめぼれ	48戸	120ha	5割減農薬・減化学肥料、 減農薬 冬期湛水	-	稲わらをすき込み土づくり、農業・ 自然体験(田植え、稲刈り、稲虫お くり、ホタル・ハッチョウトンボ観 察)、	
16 新潟県五泉市 猿和田	とげそ米	イバラトミヨ	CR, -	コシヒカリBL	1戸	0.015ha	5割減農薬・減化学肥料、 トゲン生息環境保護	-	小学生による田植え、稲刈り、田 植え体験ツアー	
17 石川県加賀市 下福田	加賀の鴨米ともえ す	トモエガモ等 ガン・カモ類	VU, VU	コシヒカリ	1戸	0.3ha	減農薬 冬期湛水	ラムサール条約湿地「片野鴨池」等から飛 来するカモ類に採食場を提供	片野・下福田地区で冬期湛水の普 及活動、子供会による田んぼへの 水入れ、鴨池観察館での展示や 普及活動	
18 福井県越前市 白山・坂口	コウノトリ呼び戻 す農法米	コウノトリ	CR, EN	コシヒカリ	9戸	3.5ha	無農薬・無化学肥料	-	小中学校による生き物観察	
19 福井県越前市 安養寺町	さざ草米	サギソウ	NT, -	コシヒカリ	1戸 組合 (23 名)×1 戸	21ha	5割減農薬・減化学肥料	サギソウ、アベサンジョウウオ、モウセンゴ ケ、ハッチョウトンボなどの生息地保全		
関東										
20 茨城県土浦市 茨塚	サンバの里・茨塚 米	サンバ、アカ ガエル、チヨ ウトンボ等	VU, LC(サンバ)	コシヒカリ	2戸	0.6ha	減農薬	-	米オーナー制、田んぼ塾、生き物 調査	
21 茨城県稲敷市 稲波・引船	オオヒシキイ米	オオヒシキイ	NT, LC	コシヒカリ、マ ンゲツモチ	8戸	5ha	減農薬	-	ヒシキイ観察会・冬期調査、休耕田 の草刈り	
22 茨城県つくばみらい市 平沼	(あいがも米)	田んぼの生 き物全般	-, -	コシヒカリ、朝 紫、太郎兵衛 もち	1戸	0.045ha	種もみ温湯処理、疎植、緑肥(カラナ シ)、良化石・カニガラ・グアノ散布、ア イガモ農法、深水管理	-	小・中学生、葛飾区民等の田植 え・稲刈り体験、農村生態系の復 元	

注1 レッドリスト区分の表示は左側が環境省のレッドリスト区分、右側がIUCN(国際自然保護連合)のレッドリスト区分となっており、“-”はリストには掲載されていないことを示す。  
区分の略号は本表末尾(4/4)に記載している。

A	B	K	L	M	N	O	P	Q	R
生産地	ブランド名	取組組織	精米小売価格(円/5kg)	周辺の慣行米小売価格(円/5kg)	慣行米との価格差	販路	取組開始年	行政機関による全対象種への対策	行政機関による生き物ブランド米の販売促進
北陸									
12 新潟県佐渡市新穂等	トキヒカリ(トキのまんま)	トキ野生復帰連絡協議会	3,500(トキのまんま、6500/10kg) 3,250(トキのまんま、渡市ヒカリ)	2,400(新潟コシヒカリ) 2,700(農水) 2,980(佐渡市ヒカリ)	535	全国(NPO等)支援団体、JA委託販売、産直、米ネットワーク新潟、居酒屋での取り扱産直(インターネット)、イトーヨーカドー(朱鷺と暮らす郷)	2001	環境省による保護増殖事業を長年実施	名刺等への印刷、パンフレット作成、市販によるセールス等多岐にわたる
13 新潟県佐渡市	佐渡育ち朱鷺の舞朱鷺と暮らす郷	JA佐渡	3,200 3,300 同上 3,400	3,200 同上	460	同上	2008(?)	環境省による保護増殖事業を長年実施	-
14 新潟県妙高市水原	めだか米	水原メダカの養殖(水原地区有志住民)		2,880(新潟コシヒカリ) 3,000(妙高清流米) 2,260~2,500(柏崎コシヒカリ)	120	同上	2000	-	-
15 新潟県柏崎市別保	ハツチヨウトシボ米	別保地区資源保全会、別保農村工房、別保田んぼの学校	2,166~2,500(26,000~30,000/60kg)	3,000(柏崎天水田) 3,600(柏崎市尖田) 3,000(別保特産米)	-47	知人・縁故	2000	-	-
16 新潟県五泉市猿和田	とげそ米	NPO法人五泉トゲソの会	3,500(42,000/60kg)	2,700(五泉市コシヒカリ)	800	NPO会員、縁故	2008	-	-
17 石川県加賀市下福田	加賀の鴨米ともえ	(財)日本野鳥の会、鴨池観察館友の会、鴨池たんぽクラブ	2,980(35,760/60kg)	2,400(加賀市コシヒカリ) 2,980(加賀市コシヒカリ) 2,190(福井コシヒカリ)	580	産直、市内販売	1986 (2001より販売)	渡り鳥の越冬地であるラムサール条約登録地(片野鴨池)に近く、対象地区を鳥獣保護区としてい	-
18 福井県越前市白山・坂口	コウノトリ呼びます農法米	水辺と生き物を守る農家と市民の会	4,000(2,500~2,700円)	2,500(福井コシヒカリ)	1,810	JA直販所等の直売所、披露宴引き出物	2008	兵庫県豊岡市において文化庁が野生復帰事業を長年実施	県HPでの広報、農林総合事務所との技術指導、県・市・JAによる販売促進
19 福井県越前市安養寺町	さざ草米	しらやま振興会、白山小学校、安養寺町自治会、武生第五中学校	1,666(20,000/60kg)	同上	-524	越前市内、HP直	2007	-	-
関東									
20 茨城県土浦市尖塚	サシバの里・尖塚米	NPO法人尖塚の自然と歴史の会		2,043(茨城コシヒカリ) 3,500(尖塚コシヒカリ)	1,250	関東が中心	1997	-	-
21 茨城県稲敷市稲波・引船	オオヒシクイ米	ヒシクイ保護基金	3,500(うるち米) 5,000(もち米)	うるち米は同上 3,980(稲敷市もち米) 3,980(満月)	1,250	全国の契約者	1997	-	-
22 茨城県つくばみらい市平沼	(あいがも米)	古瀬の自然と文化を守る会	2,500(コシヒカリ) 5,000(朝紫)	うるち米は同上 7,140(amazon朝紫)	250	縁故、自然食レストラン、地場物産	2002	-	-

付表1 全国の生きものマーク米一覧(詳細版)3/4

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
生産地	ブランド名	保全対象種 注1	レッドリスト区分 (環境省, IUCN)	品種	生産農 家数	栽培面 積	栽培方法	取組内容	その他取組
23 栃木県 小山市 など	無耕起メダカ米	メダカ	VU, -	コシヒカリ	6戸	10ha	不耕起、5割以上減農薬、無化学肥料 冬期湛水、田植えから収穫まで水を 切らない	小学生の稲刈り	
24 栃木県宇都宮市 逆面(さかつら)	首む里のフクロウ米	フクロウ	-, -	コシヒカリ	32戸	64ha	5割減農薬、減化学肥料	フクロウの巣箱設置	生き物調査
25 神奈川県茅ヶ崎市 西久保	湘南タゲリ米	タゲリ	-, LC	キヌヒカリ	24戸	6ha	5割減農薬の除草剤のみ、減化学肥 料。無農薬無化学肥料農家もある		ピオトーブ設置、水田魚道設置、 体験水田、生き物調査、地域の学 校・イベントで啓蒙活動
26 神奈川県小田原市 桑原	桑原めだか米	メダカ、デン ジノウ、マル タニシ、モノ シ、アラガイなど	VU, -(メダカ) VU, -(デンジ ノウ) NT, -(マルタ ニシ) NT, -(モノシ アラガイなど)	キヌヒカリ	8戸 産、 2008)	-	減農薬 冬期湛水	めだか魚道、畦畔の草を刈らずに残す。	市民による水路清掃や藻取り。メ ダカ、デンジノウ、スッポク、マルタ ニシ、モノアラガイ、タコノアシ、ミ ズマツバ、カワチシヤ、スブタ、サ ガミドリゲモ、イトドリゲモ、ミスカ モジクサなどに配慮
27 兵庫県豊岡市、養父 市 朝来市、新温泉町	コウノトリ育むお 米 コウノトリの舞	コウノトリ	CR, EN	コシヒカリ、五 百万石(酒米)	148戸	189.4ha	無農薬栽培及び75%減農薬栽培 5割減農薬・減化学肥料 冬期湛水、早期湛水、深水管理、中 干し延期	水田魚道の設置、素掘り水路の設置(水生 動物の逃げ道)	栽培研修、生き物調査、消費者交 流
28 滋賀県野洲市、米原 市 東近江市	魚のゆりかご水 田米	ニゴロブナ、チ ギンブナ、チ マス、コイ	EN, -(ニゴロ ブナ) LP, VU(琵琶湖 のコイ)	コシヒカリが 主	-	111ha	魚毒性の低い除草剤使用、多数の農 薬は5割減農薬・減化学肥料 中干し延期	水田魚道設置	生き物観察会、小学校への出張講 座等
29 滋賀県高島市	たかしま生きもの 田んぼ米	ニゴロブナ、 ナゴヤダル マガエル、 チュウササギ、 メダカ、ナマ ズなど	EN, -(ニゴロ ブナ) EN, -(ナゴヤ ダル) NT, -(チュウ ササギ)	コシヒカリ、ミ ルキークイー ン	13戸	13ha	無農薬、無化学肥料、種もみ温湯消 毒、中干し延期(梅雨明け目安)、畦草 への除草剤禁止など 早期湛水、深水管理	水田魚道設置、他カエルスロープ設置、休 耕ピオトーブ設置等	生き物調査、牛糞復活、百貨店・こ だわり米穀店との共同イベント開 催、セト商品の開発・販売、各種 情報発信(TV、新聞等)など
30 中国・四国 広島県尾道市 御調町	源五郎米	ゲンゴロウ	NT, -	コシヒカリ、キ ヌヒカリ	6戸	2.5ha	5割減農薬、減化学肥料	田んぼの一部に窪みをつくり、中干しの際 の水生動物の避難場所を提供	米作り・田舎体験、里山整備等
31 広島県尾道市 御調町	みつき健康米	たんぼの生 き物全般	-	コシヒカリ、ヒ ノヒカリ	7戸	3ha	無農薬、無化学肥料 減農薬		農業体験イベント(田植え、稲刈 り、地元小学生の体験等)
32 広島県世羅町 伊尾・小谷	ダルマガエル米	(ナゴヤ)ダル マガエル	EN, -	あきろまん	3戸	1ha	無農薬、減農薬、減化学肥料 冬期湛水、長期湛水(晩生種のため)	田んぼにつながるピオトーブ整備	小学校の環境学習(ダルマガエ ル、キフチヨウ観察会)、キフチヨウ の生息地整備

注1 レッドリスト区分の表示は左側が環境省のレッドリスト区分、右側がIUCN(国際自然保護連合)のレッドリスト区分となっております。"-"-はリストには掲載されていないことを示す。  
区分の略号は本表末尾(4/4)に記載している。

A	B	K	L	M	N	O	P	Q	R
生産地	ブランド名	取組組織	精米小売価格(円/5kg)	周辺の慣行米 小売価格(円/5kg)	慣行米との価格 差	販路	取組開始 始年	行政機関による保 全対象種への対策	行政機関による 生き物ブランド 米の販売促進
23 栃木県小山市 など	無耕起メダカ米	泉んぼの会	3,000~4,280(36,000/60kg)	2,180(宇都宮市 コシヒカリ(慣行) 2,300(小山市コ シヒカリ 減農 薬・減化学肥料) 1,950~2,180(宇 都宮市コシヒカ リ(慣行))	1,575ターネット、自店 売り、業務用	全国に通販(イン ターネット)、自店 売り、業務用	1985 -	-	-
24 栃木県宇都宮市 24 逆面(さかづら)	育む里のフクロウ 米	逆面自治会	2,000(24,000/60kg)	1,990(厚木市キ ヌヒカリ(慣行))	-65 自家販売	県内で75%を販 売。通販(インター ネット)、契約米店 (白木屋米店)	2008 -	-	-
25 神奈川県茅ヶ崎市 25 西久保	湘南タゲリ米	自然保護団体「三翠 会」、西久保生産組合	3,500	1,990(厚木市キ ヌヒカリ(慣行))	1,510	JA直売、関東及 び関西の米穀店・ スーパー・生協	2001 -	-	-
26 神奈川県小田原市 26 桑原	桑原めだか米	桑原めだか米の会	2,750(5,500/10kg)	同上	760	産直(小田原、相 模原、松田の個 人・飲食店・保育 園等)	2005 -	-	-
27 兵庫県豊岡市、養父 市	コウノトリ育むお 米	コウノトリ育むお米生 産部会	3,480(無農薬) 2,490(兵庫コシ ヒカリ(慣行)) 2,980(減農薬 ヒカリ(慣行))	2,490(兵庫コシ ヒカリ(慣行))	740	JA直売、関東及 び関西の米穀店・ スーパー・生協	2003	文部科学省による 野生復帰事業を最 年実施	各刺等への印 刷、パンフレット 作成、市販によ るセールス等多 岐にわたる
28 滋賀県野洲市、米原 市	魚のゆりかご水 田米	魚のゆりかご水田協 議会(益田町、安養寺 町、野洲市須原等)	2,412~3,759(特別栽培米) 2,900(有機減農 薬) 3,380(高鳥市畑 の棚田米コシヒ カリ(慣行)) 3,550	2,100(湖北産コ シヒカリ(慣行)) 1,980~2,350(滋 賀コシヒカリ(慣 行)) 2,400(滋賀コシ ヒカリ有機減農 薬) 3,380(高鳥市畑 の棚田米コシヒ カリ(慣行)) 1,980~2,100(湖 北産コシヒカリ 慣行)	432	県内大手スー パー、直売所、給 食など	2007	水田魚道の設置な ど	-
29 滋賀県高島市	たかしまきもの 田んぼ米	たかしま有機農法研究 会、高島市役所農業 振興課、(株)アミタ特 続可能経済研究所	3,400(無農薬・化学肥料ヒノヒカリ)	2,900(減農薬コシヒカリ) 2,700(減農薬ヒノヒカリ) 同上	1,570	百貨店、こだわ り米穀店	2006	水田魚道の設置な ど	市による販売促 進
中国・四国									
30 広島県尾道市 御調町	源五郎米	JA尾道市環境農業研 究会	2,675(コシヒカリ 5,350/10kg) 2,450(キヌヒカリ 4,900/10kg)	2,320(世羅市コ シヒカリ 特別裁 培米) 2,210(世羅市コ シヒカリ(慣行))	353	主に尾道市内。 JA、産直、地元デ パート、スーパー、 道の駅、給食等	2003 -	-	-
31 広島県尾道市 御調町	みつぎ健康米	JA尾道市環境農業研 究会	2,900(減農薬コシヒカリ) 2,700(減農薬ヒノヒカリ) 同上	JAフアーマーズ (近隣市町村)	790	JAフアーマーズ (近隣市町村)	1988 -	-	-
32 広島県世羅町 伊尾・小谷	ダルマガエル米	伊尾・小谷たえくら ブ(小学校・父母・先生・ 農家・専門家・行政)	2,500(玄米 15,000/30kg) 1,970~2,375(広 島あきらまん)	1,970~2,375(広 島あきらまん)	530	緑故米中心	2006 -	-	-

付表1 全国の生きものマーク米一覧(詳細版)4/4

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
生産地	ブランド名	保全対象種	レッドリスト区分 (環境省, IUCN)	品種	生産農 家数	栽培面 積	取組内容	[生き物直接対策]	[その他取組]
			注1						
33 岡山県久米南町 北庄中央	今糶米	たんぼの生 き物全般	-	コシヒカリ	18戸	1ha	減農薬、有機栽培、はざ干し(天日干)	-	地元小学校と田植え、稲刈りなどの 田んぼの学校、地区住民・圃田 支援隊と耕作放棄地(圃田)景観、再 生活動、ため池が多く、逆サイフォ ンの原理を利用した農業用水整備 等の伝統的技術・景観の維持
34 鳥取県安来市 能義・宇賀荘	どじょう米	ドジョウ、メ ダカ、タガ メ、コオイム シなど	VU、-(メダカ) VU、-(タガメ) NT、-(コオイム シ)	ヒノヒカリ	1法人 (248名)	9.5ha	無農薬・無化学肥料 冬期湛水、深水管理	水田にドジョウを放流し収穫、冬期にはコ ハクチョウ、マガンの餌にもなる(ラムサセ ール条約登録湿地である「央道湖」に近い)	地域住民、消費者と交流
35 山口県周南市 八代	つるの里米	ナベヅル	VU, VU	コシヒカリ、ひ とめぼれ、山 田錦	2戸	18ha	無農薬・無化学肥料、冬期湛水、米ぬ か+深水管理(草抑制) 5割減農薬・減化学肥料、-	冬期湛水田に小学生とドジョウ放流、ツル のぬぐら整備など	冬生き物調査、水田魚道設置など
36 高知県日高村 鹿尻 九州・沖縄	メダカがいる田ん ほのお米	メダカ	VU、-	コシヒカリ	1戸	0.3ha	除草剤1度だけ使用	田植え約2週間後から収穫時まで、メダカ の生息するため池と田んぼをつなげる(メ ダカはため池で越冬する)。	子供たちの田植え体験、稲刈り教 室
37 長崎県対馬市 佐藤	ツシマヤマネコ米	ツシマヤマ ネコ	OR	コシヒカリ ヒノヒカリ	5戸	0.26ha	減農薬 一部の田んぼで中干し延期、冬期湛 水	なし	生き物調査
38 鹿児島県日置市 尾木塚(おこほ)	めだかの里米	メダカ、マル タニシ、アカ ハライモリ	VU、-(メダカ) NT、-(マルタニ シ) NT, LC(アカハラ イモリ)	ヒノヒカリ	9戸	6.5ha	山からの湧水で栽培	めだか池整備	田植え体験、圃田・めだか散策 コース、山菜採り、ふるさと秋祭り
39 沖縄県石垣市	かんむりわし米	カンムリワシ	OR, LC	黒紫米	1戸	10ha	無農薬・無化学肥料、天日干し	カンムリワシ生態調査・保護・普及、えさ場 環境保全	-

注1 レッドリスト区分の表示は左側が環境省のレッドリスト区分、右側がIUCN(国際自然保護連合)のレッドリスト区分などっており、“-”はリストには掲載されていないことを示す。  
区分の略号は本表末尾(4/4)に記載している。  
出所 現代農業2009年5月増刊号、IUCN(2009)、環境省(2007)を元に、他の文献等を参照し筆者が大幅加筆した。



A	B	K	L	M	N	O	P	Q	R
生産地	ブランド名	取組組織	精米小売価格(円/5kg)	周辺の慣行米小売価格(円/5kg)	慣行米との価格差	取組開始年	行政機関による保全部種への対策	行政機関による保全部種への対策	行政機関による保全部種への対策
33 岡山県久米南町 北庄中央	今摺米	北庄中央棚田天然米生産組合、誕生寺小学校	2,083(25,000/60kg)	2,400~2,700(コシヒカリ 慣行)	-317	道の駅、産直、契約米問屋、	1995 -	-	-
34 島根県安来市 能義・宇賀荘	どじょう米	農事組合法人ファーム宇賀荘	-	3,150(仁多米コシヒカリ 慣行)	JA	JA	2003 -	-	-
35 山口県周南市 八代	つるの里米	NPO法人ナベツル保護環境協会、八代のツルを愛する会、自治会、PTA、八代の郷を守る会	4,200~4,680(無農薬) 2,391(5割減)	2,400~3,050(山コシヒカリ 慣行)	1,016 JA、お酒やお茶としても販売	産直、ゆうパック、JA、お酒やお茶としても販売	2007 -	-	-
36 高知県日高村 鹿尻 九州・沖縄	メダカがいる田んぼのお米	日高村グラウンドワーク推進協議会	1,800~2,180(高知コシヒカリ 慣行)	2,500	700	全国に産直	2001 -	-	-
37 長崎県対馬市 佐護	ツシマヤマメコ米	佐護ヤマメコ稲作研究会	2,500	2,400~2,500(程度)	600	全国に産直	2009	種の保存法「国内希少野生動植物種」として保護増殖事業を実施	市による販売促進、環境省・県・市との連携により売れる仕組みを検討
38 鹿児島県日置市 尾木場(おこぼ)	めだかの里米	尾木場地区自治会	2,000(24,000/60kg)	2,150(伊佐ヒノカリ 慣行)	-150	日置市内(病院、イベント、縁故)。絶対量が少なく注文は不可。	2007 -	-	-
39 沖縄県石垣市	かんむりわし米	かんむりわし基金	16,250(650/200g)	16,800(石垣黒米 840/250g 慣行)	産直、委託販売	産直、委託販売	2007	種の保存法「国内希少野生動植物種」としてモニタリング	-

環境省レッドリスト区分

EX	絶滅
EW	野生絶滅
CR	絶滅危惧IA類
EN	絶滅危惧B類
VU	絶滅危惧C類
NT	準絶滅危惧
DD	情報不足

IUCNレッドリスト区分

EX	絶滅
EW	野生絶滅
CR	絶滅危惧IA類
EN	絶滅危惧B類
VU	絶滅危惧C類
NT	準絶滅危惧
LC	軽度懸念

## 参考資料 生きものマーク米リスト作成のための参照文献・サイト一覧

### 1. メダカ米（岩手県一関市川崎町門崎）

- (1)農業協同組合新聞, 2009年11月24日, 「生態系に貢献「メダカ米」作り, J Aいわい東, わ・いわい 2009年11月号」,  
<http://www.jacom.or.jp/magazine/2009/magazine091124-6929.php>
- (2)田んぼの学校, 「第8回「田んぼの学校」企画コンテスト入賞グループ」(2009年7月22日アクセス)  
<http://www.tanbonogakko.net/cont/win/08/page01.html>
- (3)IBC岩手放送, 「IBC特集「北限のメダカ米をつくれ～環境保全と農業の新しいカタチ～」」, 2008年11月30日(日)放送
- (4)IBC岩手放送番組審議会, 第536回IBC番組審議会, 2008年12月16日開催(2009年7月22日アクセス)  
[http://www.ibc.co.jp/discussion/2008\\_536.pdf](http://www.ibc.co.jp/discussion/2008_536.pdf)

### 2. めだかのお米（山形県庄内町栄地区）

- (1)株式会社サイトウジムキ お取り寄せグルメの味縁, メダかのお米お試しセット(2009年7月10日アクセス)  
[http://ajien.net2han.biz/products/detail/product\\_id/22](http://ajien.net2han.biz/products/detail/product_id/22)
- (2)イオン, めだかのお米レインボーセット, (2009年7月10日アクセス)  
<http://www.aeonshop.com/contents/medaka/>
- (3)株式会社サイトウジムキ お取り寄せグルメの味縁, (2009年7月10日アクセス)  
[http://kakaku.journal.mycom.co.jp/item\\_info/20599482300351.html](http://kakaku.journal.mycom.co.jp/item_info/20599482300351.html)
- (4)イオン, メダかのお米(2009年7月22日アクセス)  
[http://www.aeonshop.com/tpshop-bin/tpshop\\_top.pl?page\\_id=7&plan\\_lid=1025](http://www.aeonshop.com/tpshop-bin/tpshop_top.pl?page_id=7&plan_lid=1025)
- (5)株式会社 元青果【楽天市場】, メダかのお米(2009年7月22日アクセス)  
<http://www.rakuten.co.jp/motoseika/606164/609049/629589/>
- (6)イオン, メダかのお米(2010年3月12日アクセス)  
<http://search.aeonshop.com/index.php/search?keyword=%A4%E1%A4C0%A4AB%A4CE%A4AA%CA%C6&sf=1>

### 3. メダカ米（山形県庄内町家根合）

- (1)山形県庄内農村計画課, (2010年3月19日アクセス)  
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/shonai/337046/publicdocument200802069095832960.html>

- (2)山形県庄内農村計画課，(2010年3月19日アクセス)  
[http://www.pref.yamagata.jp/regional/syonai\\_bo/living/environment/7337046publicdocument200801295369029250.html](http://www.pref.yamagata.jp/regional/syonai_bo/living/environment/7337046publicdocument200801295369029250.html)
- (3)山形県庄内農村計画課，(2010年3月19日アクセス)  
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/shonai/337046/medakaosirasesiryou.pdf>
- (4)山形発 ボランティア&情報ページ，(2010年3月19日アクセス)  
<http://ipage.yamagata-npo.net/npo2/database.cgi?cmd=dp&num=87&dp=>
- (5)河北新報，2009年10月24日，「きっかけは地元小学校の環境学習 「メダカ米」ブランド化へ」  
<http://www.kahoku.co.jp/news/2009/10/20091024t55009.htm>
- (6)山形新聞，2009年7月11日，「メダカ， しっかり生きろよ 水田に放流・庄内町」  
[http://yamagata-np.jp/news/200907/11/kj\\_2009071100189.php](http://yamagata-np.jp/news/200907/11/kj_2009071100189.php)
- (7)庄内日報，2009年7月11日，「安全， 安心 減農薬アピール 庄内町家根合 おいしいコメづくりへ放流」  
<http://www.shonai-nippo.co.jp/cgi/ad/day.cgi?p=2009:7:11>
- (8)庄内日報，2008年5月17日，「メダカライス売り出しへ 水田に導く魚道設置」，  
<http://www.shonai-nippo.co.jp/cgi/ad/day.cgi?p=2008:5:17>
- (9)農林水産省(2006)「農地・水・環境保全向上対策 モデル支援事業地区事例」(2006年9月15日アクセス)  
<http://211.13.219.45/sigen0/pdf/2060122.pdf>
- (10)株式会社クボタ「志のある農家の取り組み紹介」(2009年3月19日アクセス)  
<http://www.epron.kubota.co.jp/kokorozashi/yamagata.html>

#### 4. ふゆみずたんぼ米 (宮城県大崎市仲崩)

- (1)農林水産省生物多様性戦略検討会 (2008)「第7回 資料2」  
[http://166.119.78.61/j/kanbo/kankyo/seisaku/s\\_senryaku/seibutu\\_tayo/tayo07.html](http://166.119.78.61/j/kanbo/kankyo/seisaku/s_senryaku/seibutu_tayo/tayo07.html)
- (2)横浜市・川崎市の珈琲&レストラン &you(アンジュ)，(2009年7月22日アクセス)  
<http://www.tcc-andyou.jp/desire/rice.html>
- (3)(株)たじり穂波公社，(2009年7月22日アクセス)  
<http://www.honamikousya.com/index.php?%A4%D5%A4%E6%A4%DF%A4%BA%A4%BF%A4%F3%A4%DC%CA%C6%C8%CE%C7%E4>
- (4)『月刊地域づくり』 第250号(2010年4月号)  
<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/book/monthly/1004/html/f03.htm>

## 5. ヒシクイ米（宮城県大崎市三本木・下宿）

- (1)毎日新聞, 2009年1月16日, 「2000キロを超えた奇跡の出会い 鳥と人間の共生訴え」
- (2)雁の里親友の会, 「雁の里親制度の歴史と新たな取り組みについて」(2009年7月30日アクセス)  
<http://homepage3.nifty.com/shibalabo/top/3-1/history/history.htm>
- (3)雁の里親友の会, 「お米のこと」(2009年7月30日アクセス)  
<http://homepage3.nifty.com/shibalabo/top/3-1/rice/rice.htm>

## 6. 雁音米（宮城県大崎市加美町等）

- (1)米屋市右エ門「雁音米のページ」, (2009年12月10日アクセス)  
<http://www.geocities.jp/komeyaichiemon/Okome/Okome.htm>
- (2)有限会社森山商店, (2009年12月10日アクセス)  
<http://item.rakuten.co.jp/ousama-syokunin/kome-myg-10k002/>
- (3)有限会社森山商店, (2009年12月10日アクセス)  
[http://www.shinamaru.com/products/pro\\_2386.html](http://www.shinamaru.com/products/pro_2386.html)
- (4)有限会社森山商店, (2009年12月10日アクセス)  
<http://item.rakuten.co.jp/ousama-syokunin/kome-sal-30k001/>
- (5)有限会社森山商店, (2009年12月10日アクセス)  
<http://item.rakuten.co.jp/ousama-syokunin/kome-myg-30k052/>
- (6)有限会社トランスクリタ, (2009年12月10日アクセス)  
<http://shop.syun-syoku.jp/shopdetail/008004000002>
- (7)読売新聞宮城, 2004年1月5日, 「マガン飛来地の米 前面に」  
<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/miyagi/kikaku/054/5.htm>
- (8)プレマ「生命あふれる田んぼのお米：小野寺さんのお米作りへのこだわり」(2010年3月18日アクセス)  
[http://www.binchoutan.com/okome/okome\\_report1.html](http://www.binchoutan.com/okome/okome_report1.html)

## 7. ふゆみずたんぼの有機米（宮城県大崎市田尻北小塩）

- (1)「「ふゆみずたんぼ」に魅せられて（北小塩）」, (2010年3月18日アクセス)  
<http://blogs.dion.ne.jp/fuyumizu/>

## 8. シナイモツゴ郷の米（宮城県大崎市広長・深谷地区）

- (1)読売新聞, 2009年6月29日, 「シナイモツゴ 児童ら飼育・放流（宮城県・旧鹿島台町）」  
<http://www.yomiuri.co.jp/eco/mamoru/20090629-OYT8T00377.htm>

- (2)毎日新聞宮城, 2010年3月15日, 「自然共生三志米: 大崎産の米3種, セットにしてPR」(2010年3月15日アクセス)  
<http://mainichi.jp/area/miyagi/news/20100315ddlk04020031000c.html>
- (3)シナイモツゴ郷の会 (2008)『シナイ通信』第13号  
[www.geocities.jp/shinaimotsugo284/tuusin/tuusin13.pdf](http://www.geocities.jp/shinaimotsugo284/tuusin/tuusin13.pdf)
- (4)かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会, (2009年10月18日アクセス)  
[http://satonomai.jp/index.html?\\_startPage=3](http://satonomai.jp/index.html?_startPage=3)
- (5)かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会 (2008)『シナイモツゴ郷の米通信』第1号  
<http://satonomai.jp/satonomai1.pdf>
- (6)かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会 (2008)『シナイモツゴ郷の米通信』第2号  
<http://satonomai.jp/satonomai2.pdf>
- (7)かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会 (2008)『シナイモツゴ郷の米通信』第3号  
<http://satonomai.jp/satonomai3.pdf>
- (8)シナイモツゴ郷の米作り手の会, (2009年10月18日アクセス)  
<http://satonomai.jp/>
- (9)環境省自然環境局「未来に引き継ぎたい里地里山 取り組み事例紹介」(2009年7月22日アクセス)  
<http://www.env.go.jp/nature/satoyama/mirai.html>

## 9. 雁の里米 (宮城県栗原市・登米市)

- (1)登米市倫理法人会「第531回モーニングセミナー」, 2008年3月25日開催, (2009年7月22日アクセス)  
<http://0220.jp/tome-rinri/archives/320>
- (2)財団法人地域活性化センター「百姓環境フォーラム」(2010年3月19日アクセス)  
<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/cgi-bin/profile/data.cgi?number=3462>
- (3)雁を保護する会「とめ・くりはら百姓環境フォーラムの取り組み」(2010年3月19日アクセス)  
<http://www.jawgp.org/wwdm1997/rep2.htm>

## 10. 伊豆沼オリザ米 (宮城県栗原市築館・迫)

- (1)三塚牧夫 (2005)「ナマズのがっこうの取り組みについて」『農業土木学会誌』73(6) pp.493-494.
- (2)宮城県「第4回伊豆沼・内沼自然再生協議会資料」(2010年3月19日アクセス)  
<http://www.pref.miyagi.jp/sizenhogo/sizen/izunuma-saisei/dai4kai/04-04%20siryou4.pdf>

- (3)農村環境整備センター（2006）「食料・農業・農村政策審議会 農村振興分科会 農業農村整備部会 技術小委員会，環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針」

[http://www.acresdb.jp/hairyodb\\_koukai/pdf/gijyutu\\_shishin.pdf](http://www.acresdb.jp/hairyodb_koukai/pdf/gijyutu_shishin.pdf)

## 11. はつかり米（宮城県登米市南方町）

- (1)板倉農産，（2009年7月14日アクセス）

<http://www.itakura.to/index.html>

- (2)板倉農産，「はつかり米プロジェクト」（2009年7月14日アクセス）

<http://www.itakura.to/news/project.html>

- (3)『現代農業』（2000）「渡り鳥の舞い降りる田んぼの「はつかり米」は予約完売！」，2000年01月号，p.148.

[http://lib.ruralnet.or.jp/cgi-bin/ruraldetail.php?KID=200001\\_039](http://lib.ruralnet.or.jp/cgi-bin/ruraldetail.php?KID=200001_039)

- (4)『現代農業』（2006）「オーダーメイドの業務用米を販売」『現代農業』2006年2月号，pp273-277

<http://www.ruralnet.or.jp/gn/200602/kome.htm>

## 12. トキひかり・トキのまんま（新潟県佐渡市新穂等）

### 12-1. トキひかり

- (1)大島主食販売「トキひかり」，（2010年3月19日アクセス）

<http://www7.ocn.ne.jp/~oojima/tokihikari.html>

- (2)大島主食販売「トキひかり栽培指針」（2010年3月19日アクセス）

<http://www7.ocn.ne.jp/~oojima/tokihikari-saibai.html>

- (3)Natural Agriculture Planning，「トキひかり」，（2010年3月19日アクセス）

<http://www.e-nap.jp/shopping/shosai.php?pid=1167115838-624141&cn=2&p=1>

- (4)村山米店，（2010年3月19日アクセス）

<http://www.murakome.jp/item/tokihikari/info.html>

- (5)米ネットワーク新潟，（2010年3月19日アクセス）

<http://www.komenet-niigata.or.jp/event/index.html>

### 12-2. トキのまんま

- (1)コメリ産直市場「エコポイント交換商品一覧」（2010年3月19日アクセス）

<http://www.sancyoku.jp/toppage/ecopoint/index.html>

- (2)コメリ産直市場，（2010年3月19日アクセス）

<http://webcache.googleusercontent.com/search?q=cache:npBFF44p0MsJ:www.sancy>

oku.jp/main%3FactionNameTxt%3Dctgry%26ctc%3D020105+%E4%BD%90%E6%B8  
%A1%E3%80%80%E3%80%80%E3%82%B3%E3%82%B7%E3%83%92%E3%82%AB%E  
3%83%AA%E3%80%80%E3%80%80%E3%83%88%E3%82%AD%E3%81%AE%E3%81  
%BE%E3%82%93%E3%81%BE&cd=98&hl=ja&ct=clnk&gl=jp

### 13. 佐渡育ち・朱鷺の舞・朱鷺と暮らす郷（新潟県佐渡市）

(1)JA 佐渡，（2009年7月14日アクセス）

<http://www.ja-sado-niigata.or.jp/tokusan/tokinomai.htm>

(2)新潟市農林水産部農業政策課水田農業係「新潟市－補助金取扱基準「売れる米づくり推進事業」」（2009年7月17日アクセス）

<http://www.city.niigata.jp/info/nosei/hojyokin/H19/35urerukome.htm>

(3)環境省自然環境局「未来に引き継ぎたい里地里山 取り組み事例紹介」（2009年7月22日アクセス）

<http://www.env.go.jp/nature/satoyama/mirai.html>

(4)新潟県佐渡市役所「「朱鷺と暮らす郷づくり」認証制度のご案内」（2008年9月24日アクセス）

<http://www.city.sado.niigata.jp/eco/info/rice/index.shtml>

(5)新潟県佐渡市役所「市長のひとこと 第4回 朱鷺と暮らす郷づくり制度」（2008年5月26日アクセス）

[http://www.city.sado.niigata.jp/mayor/i\\_v/log/04.shtml](http://www.city.sado.niigata.jp/mayor/i_v/log/04.shtml)

### 14. めだか米（新潟県妙高市水原）

(1)過疎地域問題調査会「交流居住のススメ 全国田舎暮らしガイド」（2009年7月13日アクセス）

<http://kouryu-kyoju.net/program.php?ID=818>

(2)休暇村協会「休暇村妙高 農業体験「めだかの楽耕」」（2010年3月19日アクセス）

<http://www.qkamura.or.jp/myoukou/qpage10.html>

(3)地域活性化センター，「水原メダカの楽耕」（2010年3月19日アクセス）

[http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/1\\_all/jirei/2004\\_kyouseibook/23/index.html](http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/1_all/jirei/2004_kyouseibook/23/index.html)

(4)産経新聞新潟，2000年5月14日，「棚田のオーナー 田植えを初体験」

(5)新潟日報，2000年5月21日，「メダカの学校 自然たっぷり」

### 15. ハッチョウトンボ米（新潟県柏崎市別俣）

(1)柏崎日報，2009年12月11日，「別俣地区でハッチョウトンボ米試験販売へ」

<http://www.kisnet.or.jp/nippo/nippo-2009-12-11-4.html>

## 16. とげそ米（新潟県五泉市猿和田）

(1)五泉トゲソの会，（2009年7月10日アクセス）

<http://www.geocities.jp/gosentogeso/>

(2)五泉トゲソの会(2008)『トゲソ通信』27号，2008年12月

<http://www.geocities.jp/gosentogeso/togesonews/TogesoNews27.pdf>

（一覧は <http://www.geocities.jp/gosentogeso/togesonews.html>）

(3)五泉トゲソの会，「五泉トゲソの会とは」（2010年4月9日アクセス）

<http://www.geocities.jp/gosentogeso/introduce.html>

(4)表参道・新潟館 ネスペース，「ネスペース☆メールプラス 特派員レポート」（2010年3月18日アクセス）

<http://www.nico.or.jp/nespace/mailplus/report/53.html>

(5)楽天トラベル，咲花温泉 碧水荘 宿泊プラン一覧「湧水の自然観察と減農薬米【とげそ米】の田植体験」，（2010年3月18日アクセス）

[http://web.travel.rakuten.co.jp/portal/my/jyouhou\\_page.main?f\\_no=16184&f\\_teikei=&f\\_flg=PLAN&f\\_kin=&f\\_kin2=&f\\_heyasu=1&f\\_kaiin\\_no=&f\\_kaiin\\_tel=&f\\_hak=&f\\_tel=&f\\_nen1=&f\\_tuki1=&f\\_hi1=&f\\_nen2=&f\\_tuki2=&f\\_hi2=&f\\_target\\_flg=&f\\_tscm\\_flg=&f\\_p\\_no=&f\\_custom\\_code=&f\\_search\\_type=&f\\_static=0&f\\_camp\\_id=354545&f\\_syu=j8&f\\_hizuke=20100405&f\\_otona\\_su=2](http://web.travel.rakuten.co.jp/portal/my/jyouhou_page.main?f_no=16184&f_teikei=&f_flg=PLAN&f_kin=&f_kin2=&f_heyasu=1&f_kaiin_no=&f_kaiin_tel=&f_hak=&f_tel=&f_nen1=&f_tuki1=&f_hi1=&f_nen2=&f_tuki2=&f_hi2=&f_target_flg=&f_tscm_flg=&f_p_no=&f_custom_code=&f_search_type=&f_static=0&f_camp_id=354545&f_syu=j8&f_hizuke=20100405&f_otona_su=2)

## 17. 加賀の鴨米ともえ（石川県加賀市下福田）

(1)鴨池観察館，「自然との共存を考えるお米 加賀の鴨米ともえ」（2009年7月11日アクセス）

[http://park15.wakwak.com/~kamoike/top/kaganokamomai\\_tomoe.html](http://park15.wakwak.com/~kamoike/top/kaganokamomai_tomoe.html)

(2)鴨池観察館，加賀の鴨米ともえの一年（2009年7月11日アクセス）

<http://park15.wakwak.com/~kamoike/kamomai/kamomai.html>

(3)鴨池観察館，「加賀の鴨米ともえ」の取り組み（2009年7月11日アクセス）

<http://park15.wakwak.com/~kamoike/ranger/ranger-huyumizu.html>

(4)ラムサール条約登録湿地関係市町村会議，片野鴨池（2009年7月11日アクセス）

[http://www.ramsarsite.jp/jp\\_13.html](http://www.ramsarsite.jp/jp_13.html)

(5)中日新聞石川，2010年2月1日，「“一石二鳥” ふゆみずたんぼ 環境保全と米ブランド化へ」

(6)読売新聞北陸，2009年4月27日，「石川県・片野鴨池 カモ飛来が激減 越冬の聖地守りたい」

[http://hokuriku.yomiuri.co.jp/hoksub4/voice/ho\\_s4\\_09042701.htm](http://hokuriku.yomiuri.co.jp/hoksub4/voice/ho_s4_09042701.htm)



(7)日本湿地ネットワーク (2009)『JAWAN 通信』No.95,  
<http://www.jawan.jp/rept/rp2009/rp091210-05-j95.html>

(8)日本野鳥の会 (2007)『自然系施設サポート』第2号,  
[http://www.wbsj.org/sanctuary/about/sisetsu\\_02.pdf](http://www.wbsj.org/sanctuary/about/sisetsu_02.pdf)

#### 18. コウノトリ呼び戻す農法米 (福井県越前市白山・坂口)

(1)福井新聞, 「みらい つなぐ ふくい コウノトリ米作ろう」(2010年3月22日アクセス)

<http://www.fukuishimbun.co.jp/modules/others/index.php?id=27>

(2)EIC ネット, 「コウノトリ呼び戻す田んぼサポーター大募集!!」(2010年3月11日アクセス)

<http://www.eic.or.jp/event/?act=view&serial=20832>

(3)水辺と生き物を守る農家と市民の会, 「里山体験プログラム募集」(2010年3月22日アクセス)

<http://www.abechan.org/CCP010.html>

(4)水辺と生き物を守る農家と市民の会, 「水辺と生き物を守る農家と市民の会の概要」(2010年3月22日アクセス)

<http://www.abechan.org/index.html>

(5)福井県, 「コウノトリ呼び戻す農法」で育てた米の収穫の報告について」(2010年3月22日アクセス)

[http://www2.pref.fukui.jp/press/view.php?cod=a512cb125489450971&ctg\\_cod=pctg1004&whence=3](http://www2.pref.fukui.jp/press/view.php?cod=a512cb125489450971&ctg_cod=pctg1004&whence=3)

(6)JA 越前たけふ (2009)『かがやき』2009年6月号

[www.ja-echizentakefu.or.jp/echizentakefu/pdf/kagayaki0906.pdf](http://www.ja-echizentakefu.or.jp/echizentakefu/pdf/kagayaki0906.pdf)

(7)中日新聞福井, 2009年4月7日, コウノトリの舞もう一度

(8)福井県アンテナショップ福井南青山 291, キャンペーン情報「ふくいのお米と食フェスタ」(2010年3月11日アクセス)

<http://291ma.jp/store/campaign/back.html>

(9)越前市議会, 「平成21年第7回越前市議会定例会」(2010年3月11日アクセス)

<http://www.gijiroku.net/discuss/cgi-bin/WWWdispNitteiunit.exe?A=dispNitteiunit&RA=frameNittei&USR=webusr12&PWD=&XM=0000000000000000&L=1&S=15&Y=%95%BD%90%AC21%94N&B=-1&T=-1&T0=-1&O=-1&P1=&P2=&P3=&P=1&K=1&N=3&H=24&W1=&W2=&W3=&W4=>

(10)福井新聞, 2010年2月2日, 「みや美(福井市) 生き物と共生する農業を目指し越前市白山・坂口地区の農家が栽培した「コウノトリ呼び戻す農法米」を結婚披露宴の引き出

物として扱う」

- (11)毎日新聞福井, 2010年4月2日, 「コウノトリ: 40年ぶり飛来」,  
<http://mainichi.jp/area/fukui/news/20100402ddl18040387000c.html>

## 19. さぎ草米 (福井県越前市安養寺町)

- (1)農林水産省北陸農政局農村の資源(水土里のコーナー), 「さぎ草王国」による地域共同活動, (2010年3月18日アクセス)

[http://www.maff.go.jp/hokuriku/nouson/shigen/pdf/pamph\\_03\\_08.pdf](http://www.maff.go.jp/hokuriku/nouson/shigen/pdf/pamph_03_08.pdf)

- (2)福井県「安養寺町(越前市)が美の里づくりコンクールで農林水産大臣賞を受賞」, (2010年3月18日アクセス)

[http://www.pref.fukui.jp/doc/tan-noso/nouseibu/biosato\\_d/fil/001.pdf](http://www.pref.fukui.jp/doc/tan-noso/nouseibu/biosato_d/fil/001.pdf)

- (3)武生総社通り商店街振興組合「越前市・まちなか商店 総社通りオンライン・ショップ」,  
(2009年7月9日アクセス)

<http://www.e-soujya.com/SHOP/527548/list.html>

- (4)農林水産省・財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター, 第3回 美の里づくりコンクール (2009年7月9日アクセス)

<http://www.keikankaigi.com/prize/2008/08binosato.htm>

- (5)農林水産省・財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター, 「安養寺町 第3回 美の里づくりコンクール 農林水産大臣賞」(2009年7月9日アクセス)

<http://www.keikankaigi.com/prize/2008/2008pdf/01echizen.pdf>

## 20. サシバの里・宍塚米 (茨城県土浦市宍塚)

- (1)宍塚の自然と歴史の会, (2009年7月29日アクセス)

<http://www.kasumigaura.net/ooike/owner/>

- (2)NHK save the future まもりびとネット, 「NPO活動情報一覧」(2009年7月29日アクセス)

<http://cgi2.nhk.or.jp/mamoribito/cgi-bin/group/b06.cgi?oid=25&code=000025NPO&location=8&type=1>

## 21. オオヒシクイ米 (茨城県稲敷市稲波・引船)

- (1)ヒシクイ保護基金, (2010年3月18日アクセス)

<http://www.device.ne.jp/hishikui/kome/>

- (2)おせっかい塾 「アサザプロジェクト」, (2010年3月18日アクセス)

<http://www.osekkaiz.com/asaza-ohishikui.html>

- (3)日本農業新聞, 2005年4月6日, 「宣伝効果ばっちり 生き物ブランド米 環境対策を

## 22. あいがも米（茨城県つくばみらい市平沼）

- (1)農林水産省,「オーライニッポン大賞審査委員長賞 特定非営利活動法人古瀬の自然と文化を守る会」(2009年7月22日アクセス)

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/kyose\\_tairyu/k\\_orai/pdf/04\\_panfu\\_2.pdf](http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/kyose_tairyu/k_orai/pdf/04_panfu_2.pdf)

- (2)ごはんを食べよう国民運動推進協議会,「みんなで学ぼう「田んぼの学校」」(2010年3月17日アクセス)

[http://www.gohan.gr.jp/katudo/06\\_event/016\\_03.html](http://www.gohan.gr.jp/katudo/06_event/016_03.html)

- (3)葛飾区郷土と天文の博物館,「葛飾区郷土と天文の博物館－田んぼサポーター」(2010年3月17日アクセス)

<http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/ev-tanbosupport.html>

- (4)つくばみらい市立小絹小学校,「田んぼの学校の先生方お世話になりました!」(2009年12月18日アクセス)

<http://www.city.tsukubamirai.lg.jp/blog/kokinuel/index.php?e=534>

- (5)堀充宏(2008)葛飾区郷土と天文の博物館の田んぼサポーターの取り組み,千葉県博物館協会研究紀要,39:23-27

<http://www.chiba-web.com/chibahaku/museumchiba/museum39.pdf>

- (6)独立行政法人農業環境技術研究所(2005)「古瀬の自然と文化を守る会(茨城県谷和原村)が田園自然再生活動コンクールで農林水産大臣賞を受賞」農業と環境,57

<http://www.niaes.affrc.go.jp/magazine/mgzn057.html#05706>

- (7)昭和女子大学セタガヤ マチエコム ネット,「むらの自然で体験学習」(2009年7月22日アクセス)

<http://machiecom-nt.swu.ac.jp/machiecom/koukai/070421.html>

## 23. 無耕起メダカ米（栃木県小山市など）

- (1)ECO山本,「不耕起米」(2009年3月18日アクセス)

<http://www.eco-water.ne.jp/fukoukimai.html>

- (2)ECO山本,「無耕起メダカ米(白米)」(2009年3月18日アクセス)

<http://www.eco-water.ne.jp/FukoukiMai/fukoukimai3.html>

- (3)Lisamon.com,「田植え体験 栃木県小山市の不耕起米の田んぼにて」(2009年3月18日アクセス)

<http://lisamom.com/?m=200605>

- (4)ギブアンドギブン「タオの籠」市場,(2009年3月18日アクセス)

<http://homepage3.nifty.com/plan100/p12.htm>

#### 24. フクロウ米（栃木県宇都宮市逆面（さかづら））

(1)日本農業新聞, 2009年4月11日, 「フクロウ米本格販売へ」

(2)「グラウンドワーク農楽校」, 田舎で働き隊! 「グラウンドワーク農楽校」 西鬼怒地区  
(2009年7月14日アクセス)

<http://www.groundwork.or.jp/nouson/blog/nishikinu/top.htm>

(3)栃木県とちぎアグリネット, 「「逆面エコ・アグリ」地域のシンボル【フクロウ】誕生!!」(2009年7月14日アクセス)

[http://www.agrinet.pref.tochigi.lg.jp/content.cgi?category=81/01/06&content=2009\\_06\\_19\\_1.xml](http://www.agrinet.pref.tochigi.lg.jp/content.cgi?category=81/01/06&content=2009_06_19_1.xml)

(4)下野新聞, 2010年3月17日, 「宇都宮「逆面の里」環境保全型農業で全国表彰」

<http://www.shimotsuke.co.jp/biz/economics/agriculture/news/20100317/296150>

(5)宇都宮市河内地域 農地・水・環境保全向上対策活動HP, 「逆面エコ・アグリ」(2010年3月19日アクセス)

<http://www2.ucatv.ne.jp/~econet.sun/10sakazura.html>

(6)農林水産省「第5回農地・水・環境保全向上対策第三者委員会議事録」, (2010年3月19日アクセス)

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanky/nouti\\_mizu/n\\_sansya/pdf/report\\_5.pdf](http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanky/nouti_mizu/n_sansya/pdf/report_5.pdf)

(7)農林水産省「農地・水・環境保全向上対策ポータルサイト, 注目の活動一覧」(2010年3月19日アクセス)

<http://www.inakajin.or.jp/midorihozen/jirei/pickup.html>

(8)栃木県, 「記者発表 第15回環境保全型農業推進コンクールでの「逆面エコアグリ」の受賞について」(2010年3月19日アクセス)

[http://www.pref.tochigi.lg.jp/menu/press/p\\_21d/d151400\\_00000181.html](http://www.pref.tochigi.lg.jp/menu/press/p_21d/d151400_00000181.html)

(9)栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会(2009)水・環境だより第4号 農地・水・環境保全向上対策通信

<http://www.city.oyama.tochigi.jp/contents/7d8c150c1e260da/other/7d8c150c1e260da23.pdf>

(10)栃木県とちぎアグリネット, 「河内地方のうごき(事務所情報3月)」(2010年4月01日アクセス)

[http://www.agrinet.pref.tochigi.lg.jp/content.cgi?category=81/01/01&content=2010\\_03\\_17\\_1.xml&member=](http://www.agrinet.pref.tochigi.lg.jp/content.cgi?category=81/01/01&content=2010_03_17_1.xml&member=)

#### 25. 湘南タゲリ米（神奈川県茅ヶ崎市西久保）

(1)三翠会, (2010年3月11日アクセス)

<http://sannsuikai.eco.to/pc.html>

(2)三翠会, 「湘南タゲリ米ってなに?」(2010年3月11日アクセス)

<http://sannsuikai.eco.to/pc/1.html>

(3)浮島沼自然・里づくりの会(2007)「会報6号講演会”タゲリ米と増田平四郎”を聞いて」

[www.geocities.jp/ukishimanuma/pdf/kaihou\\_6.pdf](http://www.geocities.jp/ukishimanuma/pdf/kaihou_6.pdf)

(4)BIRDER, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.birder.jp/month/event/e-j06.html>

(5)時事ドットコム, 「トップインタビュー【37】服部信明・神奈川県茅ヶ崎市長」(2009年11月16日アクセス)

[http://www.jiji.com/jc/v2?id=20091116top\\_interview03\\_37](http://www.jiji.com/jc/v2?id=20091116top_interview03_37)

(6)日本野鳥の会神奈川支部, 湘南タゲリ米発売のお知らせ(2001年10月14日アクセス)

<http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/new/01nen/1014tagerimai.htm>

(7)インターネット新聞JanJan, 2007年9月27日, 「湘南タゲリ米の協力農家「水田だけでは食えない」

<http://www.news.janjan.jp/area/0709/0709270063/1.php>

(8)インターネット新聞JanJan, 2007年8月30日, 「「タゲリ」が飛来する豊かな田園地帯守りたい」

<http://www.news.janjan.jp/area/0708/0708290493/1.php>

(9)インターネット新聞JanJan, 2007年10月19日, 「食べて自然保護——茅ヶ崎市西久保「湘南タゲリ米」の新米は, いかが」

<http://www.news.janjan.jp/area/0710/0710180152/1.php>

(10)三翠会タゲリ保護基金(2002)「湘南タゲリ米通信, 2002年秋号」(第2号)

<http://page.freett.com/pewits/2002tushin.pdf>

(11)タウンニュース茅ヶ崎版, 2009年10月2日, 三翠会 水田と生き物を守り10年,

<http://www.townnews.co.jp/0603/m/2009/10/02/21818.html>

(12)神奈川新聞社カナロコ, 2009年8月8日, 「タゲリの保護へ米焼酎「たげり」試飲会/茅ヶ崎」

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/0908084/>

(13)セブンイレブンみどりの基金, 「タゲリ舞う里を描く」(2010年3月11日アクセス)

<http://www.7midori.org/katsudo/kouhou/kaze/miserarete/06/index.html>

## 26. 桑原めだか米(神奈川県小田原市桑原)

(1)農林水産省「第7回 生物多様性戦略検討会 資料3」(2008年6月23日アクセス)

[http://166.119.78.61/j/kanbo/kankyos/seisaku/s\\_senryaku/seibutu\\_tayo/tayo07.html](http://166.119.78.61/j/kanbo/kankyos/seisaku/s_senryaku/seibutu_tayo/tayo07.html)

(2)神奈川新聞「人気上昇 小田原めだか米 環境保全訴え 販路拡大に市民奔走」(2008年3月10日アクセス)

(3)エコポスト「小田原市の環境を考えるための情報誌」47号(2009年4月28日アクセス)

## 27. コウノトリ育むお米(兵庫県豊岡市, 養父市, 朝来市, 新温泉町)

(1)農林水産省「第7回 生物多様性戦略検討会 資料1」(2008年6月23日アクセス)

[http://166.119.78.61/j/kanbo/kankyoseisaku/s\\_senryaku/seibutu\\_tayo/tayo07.html](http://166.119.78.61/j/kanbo/kankyoseisaku/s_senryaku/seibutu_tayo/tayo07.html)

(2)山田屋本店, 「ギフトセット(まんじゅう付き)」(2009年7月27日アクセス)

<http://www.okomekan.net/shop/shoplist.shtml>

<http://okomekan.net/konotori/konotori.shtml>

(3)天望苑, コウノトリ育むお米(2010年3月18日アクセス)

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/komise3353/k-5000.html>

(4)画流有限会社, 農薬不使用コウノトリ米(2010年3月18日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/arumama/gr-ko/>

(5)日本海新聞「コウノトリ育むお米」新農法着実に広がり(2010年2月21日アクセス)

<http://www.nnn.co.jp/news/100221/20100221047.html>

(6)デイブリースコット「ネイチャーフーズ」(2010年3月18日アクセス)

<http://www.naturefoods.jp/goods/e1012.html>

(7)井上米穀店(2010年3月18日アクセス)

<http://www.emonol.jp/detail-2873.html>

(8)農事組合法人河谷営農組合, 「コウノトリ育むお米」(2010年3月18日アクセス)

<http://www.amazon.co.jp/%E3%82%B3%E3%82%A6%E3%83%8E%E3%83%88%E3%83%AA%E8%82%B2%E3%82%80-%E5%85%AD%E6%96%B9%E3%81%9F%E3%82%93%E3%81%BC-%E3%82%B3%E3%82%B7%E3%83%92%E3%82%AB%E3%83%AA-%E3%80%8A%E3%82%B3%E3%82%A6%E3%83%8E%E3%83%88%E3%83%AA%E8%82%B2%E3%82%80%E8%BE%B2%E6%B3%95%E3%81%AE%E3%81%8A%E7%B1%B3%E3%80%8B-%E5%B9%B8%E3%81%9B%E9%81%8B%E3%81%B6%E3%82%B3%E3%82%A6%E3%83%8E%E3%83%88%E3%83%AA%E7%B1%B3%E3%80%82%E3%82%AE%E3%83%95%E3%83%88/dp/B002ZBPO08>

## 28. ゆりかご水田米(滋賀県野洲市, 米原市, 東近江市)

(1)阪急オンラインショッピング, 「滋賀・湖北 橋本浩一さん作, 特別栽培米コシヒカリ(ゆりかご米)」(2009年7月14日アクセス)

<https://web.hankyu-dept.co.jp/ecshop/shohinDetailDisplay.do?mstShohinId=36417>

(2)近江の国から 木村商店, 「キヌヒカリ 環境こだわり米」(2009年7月14日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/kimsho/sibatafarm-kinu-h-5/>

- (3)阪急百貨店 阪急オンラインショッピング, 「(50%減農薬・減化学肥料の特別栽培米)」  
(2010年3月12日アクセス)

<https://web.hankyu-dept.co.jp/ecshop/shohinDetailDisplay.do?mstShohinId=49627>

- (4)大阪いずみ市民生活協同組合, (2010年3月12日アクセス)

[http://shop.izumi.coop/gentei/10013/pc\\_index.html?category=%831%83b%83g%82%84%82%85%82%A8%82%B7%82%B7%82%DF%82Q](http://shop.izumi.coop/gentei/10013/pc_index.html?category=%831%83b%83g%82%84%82%85%82%A8%82%B7%82%B7%82%DF%82Q)

- (5)セブンネットショッピング, (2010年3月12日アクセス)

<http://www.7netshopping.jp/food/detail/-/accd/2101480750/subno/1>

<http://www.7netshopping.jp/food/detail/-/accd/2101480750/subno/1>

- (6)セブンネットショッピング, (2010年3月12日アクセス)

<http://kaiba-shopping2.com/pickitoyokado-53010.html>

- (7)滋賀県, 「魚のゆりかご水田の効果」(2009年7月14日アクセス)

<http://www.pref.shiga.jp/g/noson/fish-cradle/3-effect/index.html>

- (8)JA グリーン近江, 「魚のゆりかご水田米プロジェクト」(2009年7月14日アクセス)

<http://www.jagreenohmi.jas.or.jp/toresa-land/toresa07.html>

- (9)滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会 (2009)「まるごとだより 11号」

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/dayori/dayori.html>

## 29. たかしま生きものたんぼ米 (滋賀県高島市)

- (1)滋賀県高島農業農村振興事務所農産普及課, 「たかしま生きものたんぼ米」高島屋京都店でも販売始まる」(2009年3月2日アクセス)

<http://www.pref.shiga.jp/imazu-pbo/nogyo/jouhou/files/H09030.pdf>

- (2)たかしま有機農法研究会, 「たかしま生き物たんぼ米」, (2010年3月22日アクセス)

<http://ikimonotanbo.jp/shopping/index.html>

- (3)たかしま有機農法研究会, 「私たちのとりくみ」(2010年3月22日アクセス)

<http://ikimonotanbo.jp/approach/index.html>

- (4)産経新聞, 2010年3月31日, 「生きものが共存ーたんぼは「命のゆりかご」

- (5)高島市, 「農の匠が命をこめる たかしま生きものたんぼ米」(2010年3月22日アクセス)

<http://www.city.takashima.shiga.jp/ikimonotanbo/>

- (6)アマタホールディングス, 「たかしま生きものたんぼ」プロジェクト」(2010年3月22日アクセス)

<http://www.amita-net.co.jp/business/consulting/case-consulting-03.html>

- (7)吉祥寺経済新聞, 2009年11月5日, 「吉祥寺の米穀店で農作物直販イベントー滋賀県の

生産者を紹介」

<http://kichijoji.keizai.biz/headline/842/>

(8)京都新聞, 2009年10月2日, 「ササニシキ 湖西で“再生”」

<http://www.kyoto-np.co.jp/article.php?mid=P2009100200033&genre=B1&area=S00>

### 30. 源五郎米（広島県尾道市御調町）

(1)たんぼでがんばー, 「源五郎米ちらし 2006」(2009年7月22日アクセス)

<http://ganbo.cocolog-nifty.com/tanbo/files/gengoroumai-chirashi2006.pdf>

(2)たんぼでがんばー, 「源五郎米栽培暦」(2009年7月22日アクセス)

<http://ganbo.cocolog-nifty.com/tanbo/files/gengoro-mai-koyomi.pdf>

(3)たんぼでがんばー, 「源五郎米」(2009年7月22日アクセス)

<http://ganbo.cocolog-nifty.com/tanbo/cat3035376/index.html>

(4)たんぼでがんばー, 「源五郎米生産者」(2009年7月22日アクセス)

<http://ganbo.cocolog-nifty.com/photos/gengoro/index.html>

(5)JA 尾道, ちらし(2009年7月22日アクセス)

<http://ganbo.cocolog-nifty.com/tanbo/files/kankyhozen-mai.pdf>

(6)中国新聞, 2003年10月3日, 「減農薬で「源五郎米」 広島県御調の7農家」

(7)中国新聞, 2004年9月30日, 「源五郎米, ブランド化スイスイ」

<http://www.media-club.jp/media/news/backnumber/lnews1001.html>

(8)日本農業新聞, 2005年4月6日, 「宣伝効果ばっちり 生き物ブランド米環境対策をアピール 新たな販路確保にも」

### 31. みつぎ健康米（広島県尾道市御調町）

(1)日本農業新聞, 2006年7月25日, 「広がる「安心! 広島ブランド」「みつぎ健康米」仲間入り」

(2)たんぼでがんばー, 「みつぎ健康米のチラシ 2006」(2009年7月22日アクセス)

<http://ganbo.cocolog-nifty.com/tanbo/files/kenkoumai-chirashi2006.pdf>

(3)JA 尾道, ちらし(2009年7月22日アクセス)

<http://ganbo.cocolog-nifty.com/tanbo/files/kankyhozen-mai.pdf>

(4)たんぼでがんばー, 「みつぎ健康米栽培暦」(2009年7月22日アクセス)

<http://ganbo.cocolog-nifty.com/tanbo/files/kenko-mai-koyomi.pdf>

(5)たんぼでがんばー, 「みつぎ健康米生産者」(2009年7月22日アクセス)

<http://ganbo.cocolog-nifty.com/photos/kenkoumai/index.html>

(6)たんぼでがんばー, 「みつぎ健康米」(2009年7月22日アクセス)

<http://ganbo.cocolog-nifty.com/tanbo/cat3035377/index.html>



### 32. ダルマガエル米（広島県世羅町伊尾・小谷）

- (1) 井藤文男（2008）「なんてももしろいんだ！「ダルマガエル米」」『現代農業』2008年7月号, pp142-143
- (2) 農林水産省（2008）「平成20年度田園自然再生活動コンクール」審査結果について  
<http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kankyo/081121.html>
- (3) 中国新聞, 2007年12月12日, 「ダルマガエルと育った新米だ」
- (4) 中国新聞, 2008年11月30日, 「「ダルマガエル米」販売」  
<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn200811300054.html>
- (5) 農林水産省農村振興局（2009）平成20年度田園自然再生活動コンクールの表彰式を開催, 交流情報誌新往来, 32:33p  
[http://www.maff.go.jp/j/nousin/nousei/sinourai/s\\_bk/pdf/032.pdf](http://www.maff.go.jp/j/nousin/nousei/sinourai/s_bk/pdf/032.pdf)
- (6) たんぼでがんばー, 「世羅町の「伊尾・小谷たえクラブ」が農林水産大臣賞を受賞」（2009年8月14日アクセス）  
<http://ganbo.cocolog-nifty.com/tanbo/2009/01/post-d973.html>
- (7) 農林水産省中国四国農政局, 「平成20年度「田園自然再生活動コンクール」の審査結果について」（2009年8月14日アクセス）  
<http://www.maff.go.jp/chushi/press/shigen/081121.html>
- (8) 農林水産省中国四国農政局, 「中国四国農政局管内受賞団体の活動概要」（2009年8月14日アクセス）  
[www.maff.go.jp/chushi/press/shigen/pdf/081121-01.pdf](http://www.maff.go.jp/chushi/press/shigen/pdf/081121-01.pdf)

### 33. 今摺米（岡山県久米南町北庄中央）

- (1) 自然と農業編集部（2007）「伝統的な有機農法で棚田を維持」『自然と農業』12(2):8-11
- (2) 都市づくりパブリックデザインセンター, 「第2回美の里づくりコンクール 農村振興局長賞 北庄中央棚田天然米生産組合」（2009年7月22日アクセス）  
[http://www.keikankaigi.com/prize/2007/pdf/nouson/03\\_kumenan.pdf](http://www.keikankaigi.com/prize/2007/pdf/nouson/03_kumenan.pdf)
- (3) 農林水産省, 「第2回美の里づくりコンクール各賞受賞一覧」（2007年2月15日アクセス）  
[http://www.maff.go.jp/j/press/2007/pdf/20070215press\\_1c.pdf](http://www.maff.go.jp/j/press/2007/pdf/20070215press_1c.pdf)
- (4) 環境省自然環境局, 「未来に引き継ぎたい里地里山 取り組み事例紹介」（2009年7月22日アクセス）  
<http://www.env.go.jp/nature/satoyama/mirai.html>

#### 34. どじょう米（島根県安来市能義・宇賀荘）

(1)島根県環境生活部,「第4回宍道湖・中海ラムサール条約と賢明な利用を語る会」(2009年7月16日アクセス)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/environment/nature/shizen/ramsar/katarukai/katarukai-04.html>

(2)都市農山漁村交流活性化機構,「地域活性化支援ナビ」(2009年7月16日アクセス)

[http://www.kouryu.or.jp/navi/navi\\_example-p3.htm](http://www.kouryu.or.jp/navi/navi_example-p3.htm)

(3)JA全農しまね,「BSS ラジオ「自由ほんぼーおしゃべり本舗」」(2006年11月13日放送)

<http://www.sm.zennoh.or.jp/ninaite/fir/20061113.htm>

(4)米穀データバンク,2004年3月24日,「島根の東京ショッパで「どじょう米」試食販売」

<http://www.japan-rice.com/news-old/2004-3.html>

#### 35. つるの里米（山口県周南市八代）

(1)山縣本店,「八代のつるの里米 かほり鶴」(2009年7月22日アクセス)

<http://www.oboshi.co.jp/kuramoto/yamagata/sake/tsurunosato.html>

(2)シマヤ,「つるの里米 お茶」(2010年3月18日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/buchi-umai/011647/>

(3)田中米穀,(2010年3月18日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/tanakakome/942580/>

(4)読売新聞山口,2010年4月10日,「減農薬米の新酒完成」

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/yamaguchi/news/20100409-OYT8T01239.htm>

(5)中国新聞情報文化センター,「つるの里米で酒仕込み 周南農事組合など」(2008年12月20日アクセス)

<http://www.media-club.jp/mm/kn.php?K=332&J=2008122500#2008122500>

(6)中国新聞,2010年4月10日,「減農薬米で「ツルの里」酒」

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201004100026.html>

(7)山口新聞,2009年3月18日,「周南・八代の無農薬米で「かほり鶴」2千本発売」

<http://www.minato-yamaguchi.co.jp/yama/news/digest/2009/0318/9p.html>

(8)周南市ふるさと振興財団(2009)『ふるさとかわら版』26(2009年春号)

<http://gokan-furusato.org/zaidan/kawaraban/20/kawara2103.pdf>

#### 36. メダカのいる田んぼのお米（高知県日高村鹿児）

(1)社団法人 生態系トラスト協会,「日高村メダカのいる田んぼのお米」を食べてみませんか(2009年7月22日アクセス)

<http://www.h7.dion.ne.jp/~ecokochi/medakamai.htm>

(2)日高村 (2007) 広報ひだか 2007年10月号

[http://www.vill.hidaka.kochi.jp/DIR/200710/200710\\_04.pdf](http://www.vill.hidaka.kochi.jp/DIR/200710/200710_04.pdf)

(3)日高村 (2007) 広報ひだか 2007年6月号

[http://www.vill.hidaka.kochi.jp/DIR/200710/200710\\_04.pdf](http://www.vill.hidaka.kochi.jp/DIR/200710/200710_04.pdf)

(4)日高村 (2006) 広報ひだか 2006年6月号

[http://www.vill.hidaka.kochi.jp/DIR/200606/200606\\_07.pdf](http://www.vill.hidaka.kochi.jp/DIR/200606/200606_07.pdf)

(5)日高ニコ2エコ応援団, めだか米のお知らせ (2009年7月22日アクセス)

<http://blog.goo.ne.jp/hidaka-nikoniko/2>

(6)財団法人 日本グラウンドワーク協会, (2009年7月22日アクセス)

[http://www.groundwork.or.jp/block/document/dg\\_hidakamura.pdf](http://www.groundwork.or.jp/block/document/dg_hidakamura.pdf)

### 37. ツシマヤマネコ米 (長崎県対馬市佐護)

(1)玖須博一 (2010) 「ツシマヤマネコを主体とした環境保護と地域づくり」『月刊地域づくり』第250号

<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/book/monthly/1004/html/f10.htm>

(2)佐護ヤマネコ稲作研究会, 「佐護ツシマヤマネコ米」(2009年11月1日アクセス)

<http://www.yamanekomai.com/index.html>

(3)環境省対馬野生生物保護センター, 「イベント情報」(2009年11月1日アクセス)

<http://twcc.cool.ne.jp/bbs/joyful3/joyful.cgi>

(4)対馬市福岡事務所ブログ, 「ツシマヤマネコの保護をPR! 「しまひこ」も参加」(2010年4月1日アクセス)

<http://tsjfuk.exblog.jp/12998364/>

### 38. 尾木場棚田のメダカ米 (鹿児島県日置市尾木場(おこば))

(1)農村環境整備センター, 「H18 田園自然再生活動コンクール受賞団体の活動の概要」(2009年7月21日アクセス)

[http://www.acres.or.jp/Acres/denen/contest/H18\\_dantai.pdf](http://www.acres.or.jp/Acres/denen/contest/H18_dantai.pdf)

(2)日本青年会議所九州地区協議会, 「地域振興イベントを核とした取組事例」(2009年7月21日アクセス)

<http://www08.jaycee.or.jp/2008/kyushu/kyujc08/data/green-t/kg-hioki.pdf>

(3)水土里ネット鹿児島, 尾木場めだかの里米づくり体験 (2009年7月21日アクセス)

[http://www.dokairen-kagoshima.or.jp/furusato/event/tana/img/21\\_oko.pdf](http://www.dokairen-kagoshima.or.jp/furusato/event/tana/img/21_oko.pdf)

(4)日置市役所, お知らせ 尾木場めだかの里米作り体験参加者の募集について (2009年5月25日アクセス)

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/modules/news/article.php?storyid=184>

### 39. かんむりわし米（沖縄県石垣市）

(1)かんむりわし基金，「かんむりわし米」（2009年7月21日アクセス）

<http://k-kikin.cocolog-nifty.com/blog/2009/03/post-4bda.html>

(2)zakka TUKTUK，（2009年7月21日アクセス）

<http://www.tuktuk.biz/>

(3)かんむりわし基金（2007）「かんむりわし通信第6号」

<http://k-kikin.cocolog-nifty.com/blog/files/6.pdf>

(4)石垣経済新聞，2008年2月14日，「カンムリワシ週間」でさまざまな取り組み・カンムリワシ・リサーチ」

### ○生きものブランド米全般

(1)環境省（2006）「第3回生物多様性国家戦略懇談会資料，生き物ブランド米等」

<http://www.biodic.go.jp/cbd/2006/conference.html>

(2)朝日新聞関西，2005年7月4日，「生き物銘柄米たわわ 「食の安全」高まる人気」

(3)現代農業（2009）「全国生きものブランド米リスト」，現代農業，2009年5月増刊号：167-177

### ○生きものマーク米

(1)フジサンケイビジネスアイ，2009年2月26日，「農水省，生物多様性保全政策 農地のエコ度「生き物」で判定」

(2)農林水産省（2008）「農林水産省生物多様性戦略検討会 資料，生物多様性を重視した持続可能な農林水産業の維持・発展に向けてー生きもの認証マーク活用への提言ー」

[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/s\\_senryaku/pdf/teigen.pdf](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/s_senryaku/pdf/teigen.pdf)

[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/s\\_senryaku/](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/s_senryaku/)

(3)アミタ持続可能経済研究所，「平成21年度農林水産生きものマークモデル事業」，（2010年3月12日アクセス）

[http://www.aise.jp/mark\\_2009/index.html](http://www.aise.jp/mark_2009/index.html)

(4)農林水産省（2010）「生きもの全国マップ」

[http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/pdf/100331\\_1-06.pdf](http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/pdf/100331_1-06.pdf)

### ○山形県慣行米等

(1)矢萩商店，（2009年7月23日アクセス）

[http://kakaku.journal.mycom.co.jp/item\\_info/20888922730351.html](http://kakaku.journal.mycom.co.jp/item_info/20888922730351.html)

(2)万糧米穀, (2009年7月23日アクセス)

<http://www.amazon.co.jp/s?ie=UTF8&search-type=ss&index=food-beverage&field-keywords=%E4%B8%87%E7%B3%A7%E7%B1%B3%E7%A9%80>

(3)ヤマザワネット de ショッピング, (2009年7月30日アクセス)

[http://item.rakuten.co.jp/yamazawa/879719\\_03/](http://item.rakuten.co.jp/yamazawa/879719_03/)

(4)万糧米穀, (2009年12月10日アクセス)

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/manryo/10002259-yav2-29.html>

(5)矢萩商店, (2009年12月10日アクセス)

<http://auction.jp.msn.com/pitem/91978746>

(6)株式会社もしも, (2009年12月10日アクセス)

<http://www.moshimo.com/article/1/130579/>

(7)みちのく四季彩 SAIKAKAN, (2009年12月10日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/saikakan/hakumai5kgen/>

(8)株式会社マルハチ, (2009年7月22日アクセス)

<http://y-okkasan.com/search/item.asp?shopcd=17344&item=16020>

#### ○宮城県慣行米等

(1)万糧米穀「宮城ひとめぼれ」, (2009年7月22日アクセス)

[http://kakaku.ecnavi.jp/item\\_info/20895506980351.html](http://kakaku.ecnavi.jp/item_info/20895506980351.html)

(2)旨味米処 梅屋米店, 「宮城県栗原産特別栽培米ひとめぼれ」 (2009年7月22日アクセス)

[http://kakaku.ecnavi.jp/item\\_info/20988889400351.html](http://kakaku.ecnavi.jp/item_info/20988889400351.html)

(3)ぜんちゃんのぶどう畑, 「低農薬栽培米ひとめぼれ」, (2009年7月22日アクセス)

<http://grapefield.jp/okomenohannbai.html>

(4)株式会社吉字屋穀店, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.rakuten.co.jp/manryo/481261/474739/1556812/>

(5)協同組合 ケンベイミヤギ, 「宮城県産 ひとめぼれ」, (2009年7月22日アクセス)

[http://www.amazon.co.jp/%E5%8D%94%E5%90%8C%E7%B5%84%E5%90%88-%E3%82%B1%E3%83%B3%E3%83%99%E3%82%A4%E3%83%9F%E3%83%A4%E3%82%AE-%E6%96%B0%E7%B1%B321%E5%B9%B4%E7%94%A3%EF%BC%81%E5%AE%AE%E5%9F%8E%E7%9C%8C%E7%94%A3-%E3%81%B2%E3%81%A8%E3%82%81%E3%81%BC%E3%82%8C-%E3%80%905kg%E3%80%91/dp/B001QTZIUQ/ref=sr\\_1\\_fkmr0\\_1?ie=UTF8&qid=1268898253&sr=8-1-fkmr0](http://www.amazon.co.jp/%E5%8D%94%E5%90%8C%E7%B5%84%E5%90%88-%E3%82%B1%E3%83%B3%E3%83%99%E3%82%A4%E3%83%9F%E3%83%A4%E3%82%AE-%E6%96%B0%E7%B1%B321%E5%B9%B4%E7%94%A3%EF%BC%81%E5%AE%AE%E5%9F%8E%E7%9C%8C%E7%94%A3-%E3%81%B2%E3%81%A8%E3%82%81%E3%81%BC%E3%82%8C-%E3%80%905kg%E3%80%91/dp/B001QTZIUQ/ref=sr_1_fkmr0_1?ie=UTF8&qid=1268898253&sr=8-1-fkmr0)

### ○新潟県コシヒカリ慣行米等

- (1) CRM センター楽天市場, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.rakuten.co.jp/nn-2/kaiso.html>

- (2) 小竹食品, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.odakesyokuhin.co.jp/yata.kosihikari.htm>

- (3) CRM センター, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.nn-2.com/itemlist.php?ezb=2&ezr=0>

- (4) 高橋米店, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.komeya3.com/okome/okome.html>

- (5) コメリ産直市場, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.sancyoku.jp/commodity?ctc=0201&shc=0462&cmc=020115046202&bac>

- (6) 富山, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.otomisan.com/rice/sado/>

- (7) 山荘通米穀販売店, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.sansoukomeya.com/SHOP/NK005.html>

- (8) ひらせいホームセンター, (2009年7月23日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/kumazou/4952711500514/>

- (9) フライング・ファーム, (2009年12月14日アクセス)

<http://www3.ocn.ne.jp/~tobita/price/price.htm>

- (10) 十一屋, (2009年12月14日アクセス)

<http://www.okome-jyuichiya.com/shop/catgory01.html>

- (11) 山波農場, (2009年12月14日アクセス)

<http://www.kisnet.or.jp/~yamanami/hanbai/oder.html>

### ○石川県慣行米等

- (1) 高田米穀店, 「無農薬無化学肥料 石川県産コシヒカリ」, (2009年7月22日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/seekome/10000102/>

- (2) I Love 加賀ネット, 「石川県加賀産 コシヒカリ」, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.kaganet.com/tokusan/tokusan.html>

### ○福井県慣行米等

- (1) 黒田米穀, 「福井県永平寺町産コシヒカリ, 福井県池田産コシヒカリ, 福井県大野市産コシヒカリ」, (2009年7月9日アクセス)

<http://www.fukuimai.com/sub33.htm>

○茨城県慣行米等

(1)栗山米店, 「茨城県産こしひかり1等米」, (2009年7月22日アクセス)

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/kurikome/20535.html>

(2)茨城県稲敷市浮島地区専業農家, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.sakuragawa-ukishima.jp/>

○栃木県慣行米等

(1)石川農園, (2009年7月22日アクセス)

<http://www6.plala.or.jp/shiratoriokome/>

(2)福田屋百貨店, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.rakuten.co.jp/fukudaya/940279/442540/442544/>

(3)JA うつのみや, 「コシヒカリ(みやおとめ)」, (2009年12月14日アクセス)

<http://www.jau.or.jp/miya/shop/index.html>

○神奈川県慣行米等

(1)JA 湘南, 「キヌヒカリ」(2009年7月22日アクセス)

[http://www.jakanagawa.gr.jp/kn5137/05einou/01tokusan/o\\_22.html](http://www.jakanagawa.gr.jp/kn5137/05einou/01tokusan/o_22.html)

(2)栗の里農園, 「厚木市キヌヒカリ」(2009年7月22日アクセス)

<http://www.kurinosato.jp/otoriyose-hajimete.htm>

○兵庫県慣行米等

(1)リカーマツモト, 「谷水使用」(2009年7月23日アクセス)

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/liquor-matsumoto/102003.html>

(2)画流有限会社, あるまま, 天水米, 一等米(2009年7月22日アクセス)

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/arumama/tn-ko.html>

(3)神蔵屋, 「兵庫県丹波コシヒカリ」(2009年7月23日アクセス)

<http://auction.jp.msn.com/item/52642276>

(4)system wave Inc., 「ひょうご豊岡市の安心農産物ブランド」, (2009年7月23日アクセス)

<http://www.system-wave.com/item/33883.php>

○滋賀県慣行米等

(1)常政米穀店大阪空港発お土産通販, (2009年7月22日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/omitsu/sancyoku-jyomasa-okome2/>

(2)KDD, (2009年7月22日アクセス)

[http://www.kddl.com/sinmai/nippon\\_mai.html](http://www.kddl.com/sinmai/nippon_mai.html)

(3)太田商店, 「(有機肥料, 減農薬)」(2009年12月10日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/kyotomasuya/10000156/>

(4)三本松米穀店, (2009年12月10日アクセス)

[http://shop.trendy.nikkeibp.co.jp/item\\_info/20875267990351.html](http://shop.trendy.nikkeibp.co.jp/item_info/20875267990351.html)

(5)幸福米穀, 「(特別栽培米)」(2009年12月10日アクセス)

<http://koufuku.shop7.makeshop.jp/shopdetail/001002000003/>

(6)幸福米穀, (2009年12月10日アクセス)

<http://www.itempost.jp/detail/1/koufuku/43>

(7)オカダ, (2009年12月10日アクセス)

<http://www.soukai.com/P8096610/p.html>

#### ○広島県慣行米等

(1)トーショク, 「あきろまん」(2009年8月14日アクセス)

[http://www.daimanpuku.com/4\\_28.html](http://www.daimanpuku.com/4_28.html)

(2)かきもと米穀, 「棚田の自然農法米, あきろまん」(2009年8月14日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/kakimoto/100251/>

(3)こめいち, 「あきろまん」(2009年8月14日アクセス)

[http://www.kome808.com/catalog/index.php?main\\_page=product\\_info&cPath=103&products\\_id=237](http://www.kome808.com/catalog/index.php?main_page=product_info&cPath=103&products_id=237)

(4)三楽屋酒店, 「あきろまん」(2009年8月14日アクセス)

[http://chupea-mall.jp/sanrakuya/goodview.php?good\\_code=00180000586](http://chupea-mall.jp/sanrakuya/goodview.php?good_code=00180000586)

#### ○岡山県慣行米等

(1)米のきのした, 「岡山コシヒカリ(JAびほく)」, (2010年3月18日アクセス)

<http://www.haigamai.com/product/index2.html>

(2)JA, 「標高400メートル前後の吉備高原コシヒカリ」, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.ja-town.com/shop/g/g62021223180001/>

(3)お米の専門店児山米穀, 「岡山無農薬コシヒカリ」, (2009年7月22日アクセス)

<http://shikoku-net.co.jp/koyama/komekakaku.htm>

(4)お酒とお米のお店つのだ, 「岡山コシヒカリ」(2010年3月18日アクセス)

<http://shoppingfeed.jp/items/index?ca=E02-002&dm=tsunoda.hc&icd=100&pid=010>

0



#### ○ 島根県慣行米等

- (1) コスモ 21, 「仁多米こしひかり」, (2009年7月22日アクセス)

<http://cosmo21okuizumo.com/?c=1&q=%BF%CE%C2%BF%CA%C6%A4%B3%A4%B7%A4%D2%A4%AB%A4%EA>

- (2) JA 全農, 「『石見銀山米』(コシヒカリ)」, (2010年3月18日アクセス)

<http://www.ja-town.com/shop/g/g61021352915332/>

- (3) ドラッグストアイヌイ, 「島根県産コシヒカリ」, (2010年3月18日アクセス)

<http://www.bidders.co.jp/pitem/83581156>

- (4) 山荘米屋, 「21年産島根県産「こしひかり」」, (2010年3月18日アクセス)

<http://www.sansoukomeya.com/SHOP/sk005.html>

- (5) ハナノキ, 「21年産島根県産仁多米コシヒカリ」(2010年3月18日アクセス)

<http://www.bidders.co.jp/item/113105659>

#### ○ 山口県慣行米等

- (1) ファインリョーコク米の匠, 「コシヒカリ」, (2010年3月12日アクセス)

[http://www.amazon.co.jp/dp/B003082B4C/ref=asc\\_df\\_B003082B4C144862/?tag=ka](http://www.amazon.co.jp/dp/B003082B4C/ref=asc_df_B003082B4C144862/?tag=ka)

- (2) 楽天市場 亀のすけ, 「山口県 阿東徳佐産コシヒカリ」, (2010年3月12日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/kamenosuke/a2009-2223/>

- (3) yahoo! 亀のすけ, 「山口県長門市産棚田米コシヒカリ」, (2010年3月12日アクセス)

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/kamenosuke/a2009-2228.html>

- (4) yahoo! 亀のすけ, 「山口県コシヒカリ」, (2010年3月12日アクセス)

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/kamenosuke/a2009-2232.html>

#### ○ 高知県慣行米等

- (1) 高知食糧株式会社おいしいごはん本舗, 高知県産コシヒカリ (2009年7月22日アクセス)

<http://www.bidders.co.jp/item/100173398>

- (2) 横山米穀店, 高知県四万十市産コシヒカリ (2009年7月22日アクセス)

[http://kakaku.journal.mycom.co.jp/item\\_info/20984031920351.html](http://kakaku.journal.mycom.co.jp/item_info/20984031920351.html)

- (3) 高橋米穀店, 高知県産こしひかり (2009年7月22日アクセス)

<http://www.e-komeya.info/cgi-bin/cargo/goodsprev.cgi?gno=k0061>

#### ○ 鹿児島県慣行米等

- (1) 迫田興産, 「<南国やまみどり, ヒノヒカリ, 減農薬」, (2009年7月22日アクセス)

<http://www.yamamidori.com/SHOP/2009K002.html>

(2)鹿児島米商, 「鹿児島県伊佐米ヒノヒカリ」(2009年7月22日アクセス)

<http://www.kagoshima-beisyo.co.jp/SHOP/a010.html>

○沖縄県黒紫米の慣行米等

(1) eSPORTS, (2009年7月22日アクセス)

<http://item.rakuten.co.jp/esports/9800511090326/>

(2)石垣島ショッピングプラザ, (2009年7月22日アクセス)

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/ishigakijima/isp-kome-01.html>